



取 付 説 明 書

本書は取付け作業前・ご使用前に必ずお読みください。

取付けは必ず専門業者に依頼してください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	G Tスーパーチャージャーシステム プロキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド No. と 対 応 年 式	12001-AH008,12002-AH002 2010/02～2012/08
取付説明書品番	E04215-H15082-00 Ver.3-3.03
メーカー車種	ホンダ C R - Z (DAA-ZF1)
エンジン型式	LEA-MF6



備 考

※純正ウォッシャータンクを取外すため、必要に応じて別途
(DENSO 160200-5070 Washer Assy) 等をご用意ください。
※燃料は必ずハイオクを使用してください。

・本製品を使用してのエンジン及び補機類等の破損については一切保証を致しません。

○本製品は、HKS GTスーパーチャージャー本体保証（以下 本体保証）が適用されます。

○本製品は、下記指定部品との組合せで使用してください。

・指定部品以外の部品を使用した場合にはエンジンが破損する場合があります。

プロキット指 定 部 品	
スパークプラグ	HKS スーパーファイヤーレーシング M40i 以上
エンジンオイル	HKS エンジンオイルシリーズ 高温粘度 25 以上

プロキット推 奨 部 品	
触媒	純正またはHKSメタルキャタライザー
中間パイプ	純正またはHKSステンレスセンターパイプ
マフラー	純正またはHKSサイレントハイパワー またはHKSリーガマックスプレミアム
燃料強化パーツ	HKS Fuel Upgrade Kit for GTSC

○本製品を下記使用条件下にて使用した場合には、本体保証をお受けになることはできません。

保証対象外となる使用条件
エンジン最大回転数の引き上げ、またはプーリー変更により、インペラ回転数を指定回転数以上で使用した場合。（インペラ回転数 最大 110,000rpm）

改訂の記録

改訂No.	日 付	記 載 変 更 内 容
3-3.01	2015/07	初版
3-3.02	2016/03	記載内容の変更
3-3.03	2017/06	記載内容の変更

目次

はじめに／本書・製品について／安全上の注意	3
パーツリスト	4
1. ノーマルパーツ取外し	8
2. トラクションオイルクーラー取付け	12
3. GTスーパーチャージャー取付け	19
4. インタークーラー・パイピング取付け	28
5. ノーマルパーツ取付け	48
6. トラクションオイル注入	49
7. 取付け後の確認と、トラクションオイル量調整	50

はじめに

この度は、HKS GTスーパーチャージースystemをお買い上げいただきありがとうございます。
本製品はプロキットとなっており、キット内のパーツのみでは走行できません。
制御ユニットに関してはお客様でセットアップし、リセッティングしてご使用ください。
安全にご使用いただき、機能を十分に発揮させるために本書をお読みください。
取付け終了後は本書に記載されている内容を守り、安全に使用してください。
本書は取付けを行なう前に必ず読み、よく理解した上で作業を行なってください。

本書・製品について

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、お客様や第三者への危険や損害を未然に防止するため、守っていただきたい注意事項を示しています。
- 本製品は自動車専用部品です。用途外の使用は行なわないでください。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を加工、誤使用したことにより受けた損害について当社は一切責任を負いかねます。
- 本製品は日本国内モデルノーマル車両への取付けを基準に開発されています。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は複数の販売国の車両への共通の取付説明書の為、特定の車両のみに該当する項目については各項目末尾に※印にて車両の指定をしています。取付けする車両に該当する場合のみ、その項目の作業を行ってください。
- 本製品は複数の販売国の車両への共通の製品の為、取付けする車両に応じて、部品の余りがあります。余り部品に関しましては次頁パーツリスト内備考欄に記載してあります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用し、お客様への危険レベルを示しています。



警告

作業者又は使用者が、死亡又は重傷を負う恐れがある場合



注意

作業者又は使用者が、傷害を負う危険が想定される場合(人損)

拡大物損の発生が想定される場合

(拡大物損とは、当該製造物が原因で誘発された物的損害(例えば車両の破損及び焼損))

パーツリスト

連番	品名	数量	備考
1	スーパーチャージャー本体 ASSY	1	GTS7040
2	トラクションオイルフィルターエレメント	1	
3	トラクションオイルタンク	1	
4	トラクションオイル	1	
5	トラクションオイルクーラー	1	
6	フィッティングエルボ	2	
7	プーリーアイドラー φ60	2	
8	スーパーチャージャー本体プーリー	1	φ90
9	ベルト	1	4PK1240
10	インタークーラー	1	
11	リストリクター φ27	1	穴径: φ27
12	リリーフバルブ ASSY	1	
13	スーパーパワーフローリローデッド φ150-80 赤	1	
14	ホース φ4	1	500mm
15	ホース φ8	1	3000mm
16	ホース φ10	1	1250mm
17	ホース φ22	1	500mm
18	耐油ホース φ10	1	1000mm
19	コルゲートチューブ センサー配線用	1	
20	コルゲートチューブ φ8 用	1	
21	コルゲートチューブ φ10 用	1	
22	コルゲートチューブ φ22 用	1	
23	インタークーラーインレットパイプ No,1	1	
24	インタークーラーインレットパイプ No,2	1	
25	インタークーラーインレットパイプ No,3	1	
26	インタークーラーアウトレットパイプ No,1	1	

27	インタークーラーアウトレットパイプ No,2	1	
28	インタークーラーアウトレットパイプ No,3	1	
29	サクシヨンパイプ No,1	1	
30	サクシヨンパイプ No,2	1	
31	サクシヨンアダプター	1	
32	スーパーチャージャーブラケット No,1	1	
33	スーパーチャージャーブラケット No,2	1	
34	テンショナーブラケット No,1	1	
35	テンショナーブラケット No,2	1	
36	トラクシヨンオイルタンクブラケット	1	
37	インタークーラーインレットパイプブラケット	1	
38	トラクシヨンオイルクーラーブラケット No,1	1	
39	トラクシヨンオイルクーラーブラケット No,2	1	
40	トラクシヨンオイルクーラーブラケット No,3	1	
41	インタークーラーアウトレットパイプブラケット No,1	1	
42	インタークーラーアウトレットパイプブラケット No,2	1	
43	インタークーラーブラケット	1	
44	サクシヨンパイプブラケット	1	
45	汎用パイプブラケット φ50 用	3	
46	汎用パイプブラケット φ80 用	1	
47	サクシヨンパイプガスケット	1	
48	シリコンホース φ50 L=20	2	
49	シリコンホース φ50 L=55	4	
50	シリコンホース φ50 L=70	1	
51	シリコンホース φ60 L=55	1	
52	シリコンホース φ70 L=20	2	
53	シリコンホース φ80 L=55	1	

54	異径シリコンホース φ60-φ80	1	
55	クッションホース φ50 L=75	2	
56	クッションホース φ60 L=75	1	
57	スペーサー M4 L=1.5	2	真鍮製
58	スペーサー M8 L=5	1	
59	スペーサー M8 L=10	1	※JPN 車両の場合不要
60	スペーサー M8 L=25	2	
61	スペーサー M10 L=4	2	
62	ホースニップル φ4 用	1	
63	ホースニップル φ10 用	3	
64	ホースクリップ φ8 用	3	
65	ホースクリップ φ10 用	2	
66	ホースバンド #4	5	
67	ホースバンド #16	2	
68	ホースバンド #28	16	
69	ホースバンド #36	6	
70	ホースバンド #40	2	
71	ホースバンド #48	3	
72	エルボ PT1/8	1	
73	チーヅ PT1/8	1	
74	六角ボルト M6 L=15	8	
75	六角ボルト M8 L=15	4	
76	六角ボルト M8 L=20	3	
77	六角ボルト M8 L=30	1	※JPN 車両の場合不要
78	六角ボルト M10 L=20	1	
79	ボタンボルト M4 L=12	1	エアフロアダプター用
80	キャップボルト M6 L=12	5	ローヘッドタイプ

81	キャップボルト M6 L=18	3	
82	キャップボルト M8 L=20	2	
83	キャップボルト M8 L=50	2	
84	キャップボルト M8 L=70	1	
85	キャップボルト M10 L=20	2	
86	キャップボルト M10 L=35	3	
87	キャップボルト M10 L=45	1	
88	皿ボルト M8 L=35	3	
89	スプリングワッシャー M6	8	
90	スプリングワッシャー M8	7	
91	スプリングワッシャー M10	1	
92	ワッシャー M6	11	
93	ワッシャー M8	13	
94	ワッシャー M10	7	
95	フランジナット M6	4	
96	フランジナット M8	6	
97	フランジナット M10	1	
98	スポンジシート	3	
99	タイラップ 大	5	
100	タイラップ 中	10	
101	タイラップ 小	10	
102	ハイオクステッカー	1	
103	取扱説明書	1	S/C キット用
104	取付説明書	1	S/C キット用
105	初期化ツール(USB メモリー)	1	

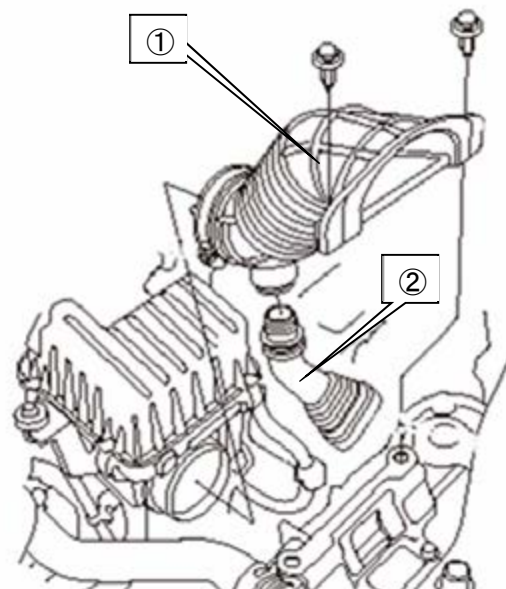
1. ノーマルパーツ取外し

整備要領書に従って作業を行なう。

(1) バッテリーのマイナス端子接続を取外す。

(2) ① インテークエアチューブを取外す。

(3) ② レゾネータチャンバジョイントを取外す。



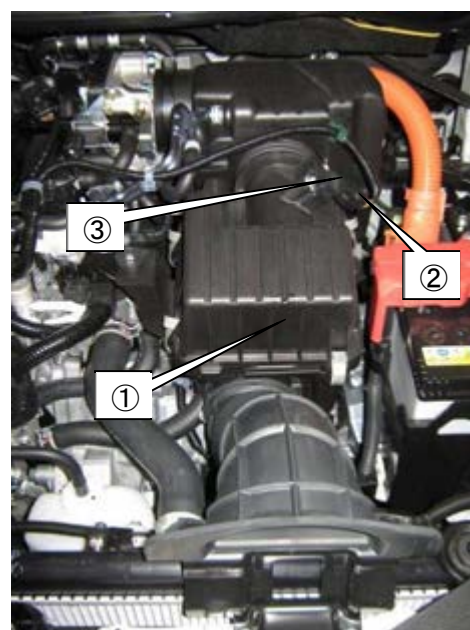
(4) ① エアクリナーを取外す。

(5) ② エアフロセンサーコネクターを取外す。

(6) ③ エアフロセンサーを取外す。

アドバイス

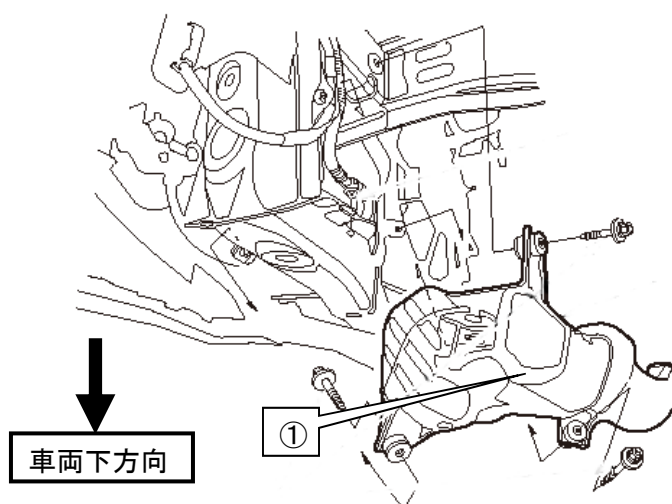
- ・エアフロセンサーを取付けているボルトは再使用する。



(7)運転席側・助手席側スプラッシュシールドを取外す。

(8)エンジンアンダーカバーを取外す。

(9)①レゾネータを取外す。



(10)①フロントバンパーサイドカバーを取外す。

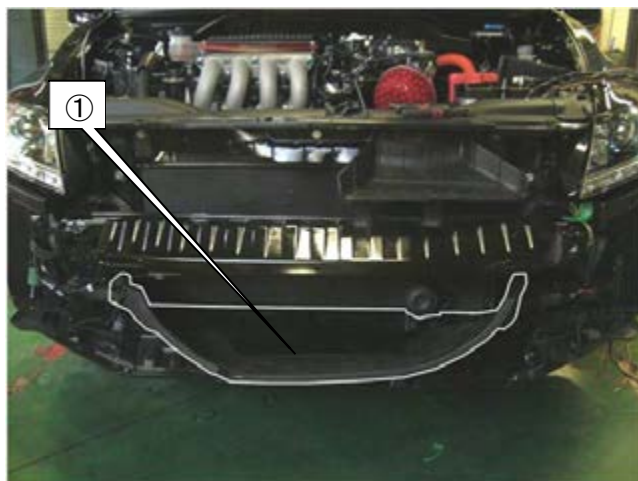
(11)②フロントバンパーセンターシールを取外す。

(12)③フロントバンパーを取外す。

(13)④フロントバンパーセンターアッパービームを取外す。



(14)①フロントバンパーエアガイドを取外す。



(15)運転席側ヘッドライトを取外す。

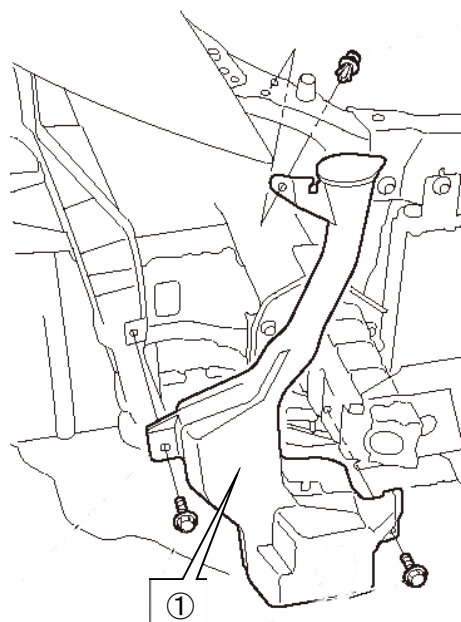
(16)ポンプについているコネクター・ホースを抜き

①ウォッシャータンクを取外す。

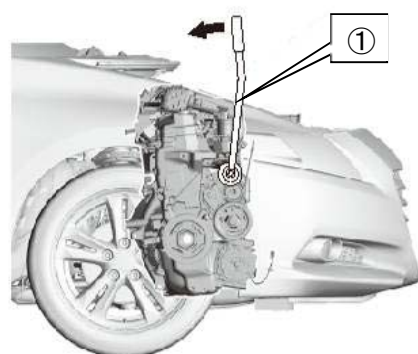
アドバイス

・純正ウォッシャータンクを取外すため、
別途必要に応じて（DENSO 160200-5070 Washer Assy）等をご用意ください。

(17)運転席側ヘッドライトを取付ける。

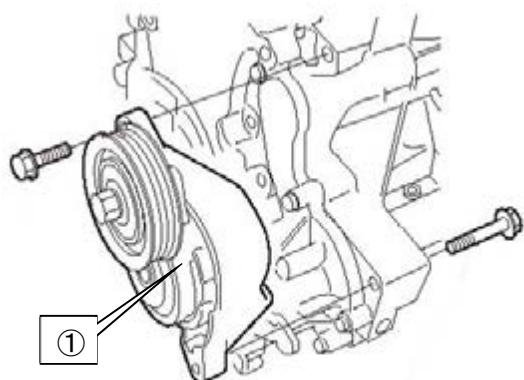


(18)オートテンショナープリーボルトに①のように
ホンダ純正専用工具・メガネレンチ等を取付け、
オートテンショナープリーを
反時計回り方向に動かしてベルトを取外す。



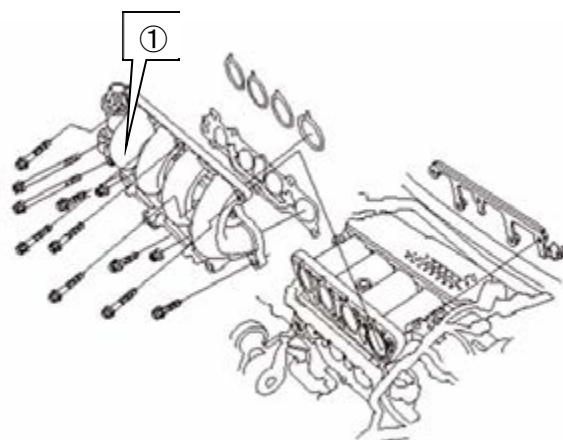
(19)①オートテンショナーを取外す。

(20)②ボルトを取外す。



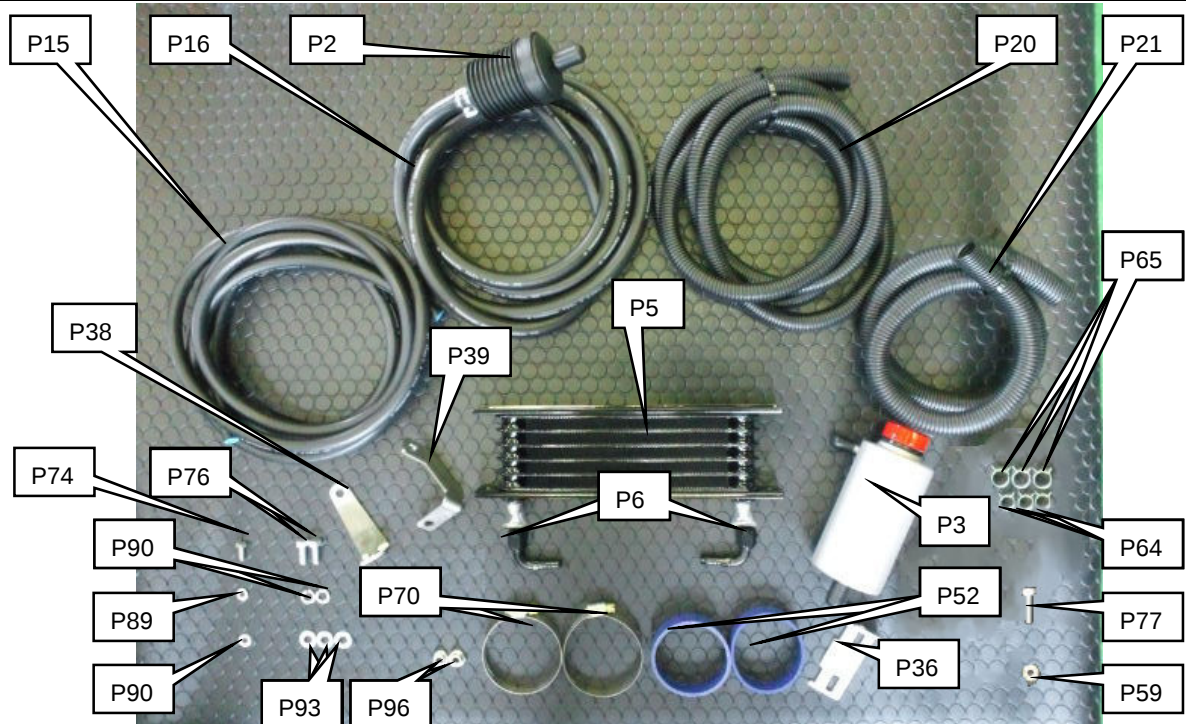
車両前方向

(21) ①インテークマニホールドを取外す。



2. トラクションオイルクーラー取付け

パーツリスト



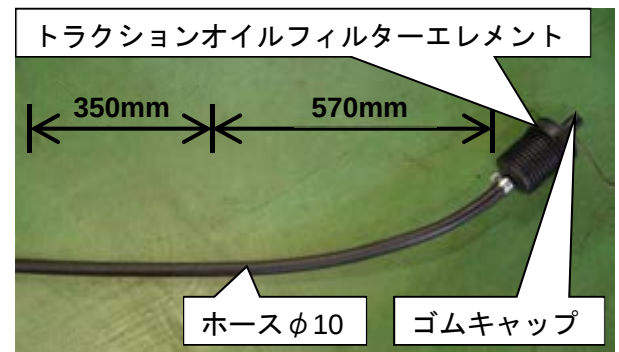
No.	品名	数量
P2	トラクションオイルフィルターエレメント	1
P3	トラクションオイルタンク	1
P5	トラクションオイルクーラー	1
P6	フィッティングエルボ	2
P15	ホース $\phi 8$	1
P16	ホース $\phi 10$	1
P20	コルゲートチューブ $\phi 8$ 用	1
P21	コルゲートチューブ $\phi 10$ 用	1
P36	トラクションオイルタンクブラケット	1
P38	トラクションオイルクーラーブラケット No.1	1
P39	トラクションオイルクーラーブラケット No.2	1
P52	シリコンホース $\phi 70$ L=20	2
P59	スペーサー M8 L=10	1
P64	ホースクリップ $\phi 8$ 用	3
P65	ホースクリップ $\phi 10$ 用	3
P70	ホースバンド #40	2
P74	六角ボルト M6 L=15	1
P76	六角ボルト M8 L=20	2
P77	六角ボルト M8 L=30	1
P89	スプリングワッシャー M6	1
P90	スプリングワッシャー M8	2
P92	ワッシャー M6	1
P93	ワッシャー M8	3
P96	フランジナット M8	2

(1) ホースφ8 を 1000mm と 1250mm
ホースφ10 を 350mm と 570mm に切断する。

アドバイス

・ホースφ10 は梱包時にオイルフィルターエレメントに接続してある為、取り外さずに、ホースの接続してある口から 570mm・350mm を切断する。

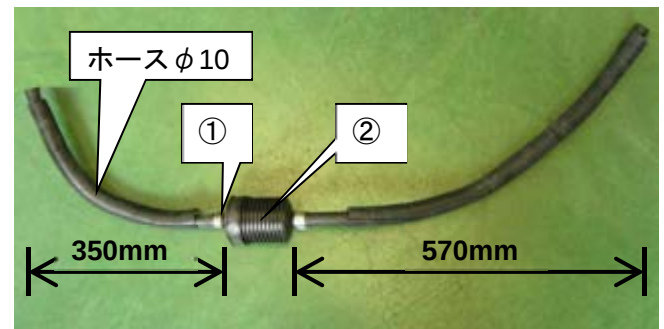
(2)トラクションオイルフィルターエレメントについている
ゴムキャップを取外す。



(3)コルゲートチューブφ8 用を 1000mm と 1250mm
コルゲートチューブφ10 用を 350mm と 570mm に切断し各ホースに取付ける。

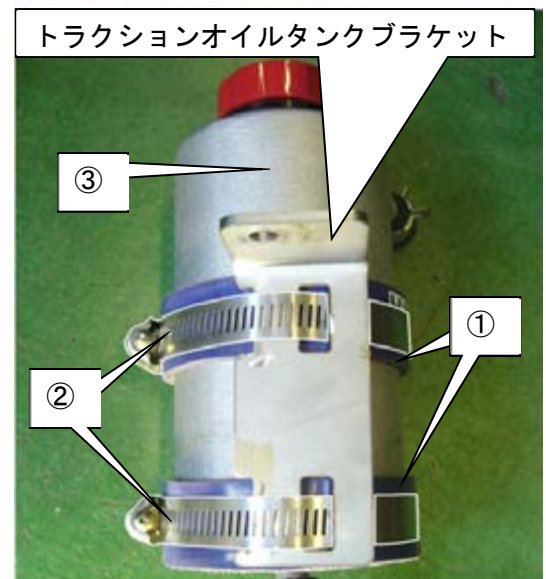
(4)ホースφ10 を

- ①ホースクリップφ10 用を用い、
- ②トラクションオイルフィルターエレメントに取付ける。



(5)トラクションオイルタンクブラケットを、

- ①シリコンホース φ70 L=20
 - ②ホースバンド #40
- を用い、
- ③トラクションオイルタンク
- に取付ける。



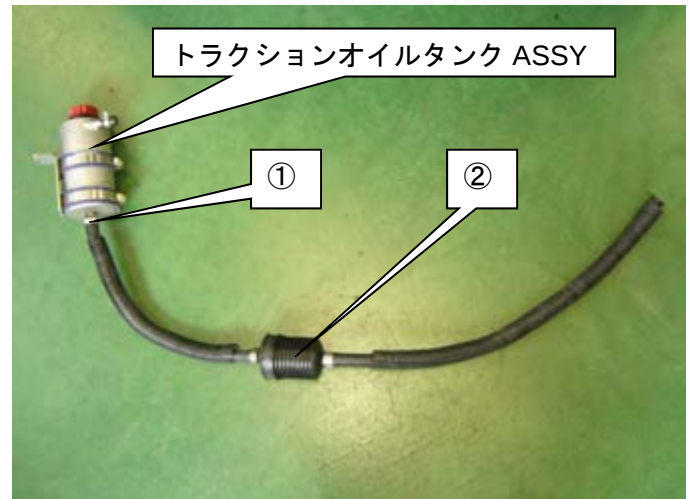
(6)トラクションオイルタンク ASSY 下部ニップルの
ゴムキャップを取外し、

①ホースクリップφ10 用

を用い、

②ホース φ10ASSY

と接続する。



(7)ホースを図のように取回し、トラクションオイルタンク ASSY を

①六角ボルト M6 L=15

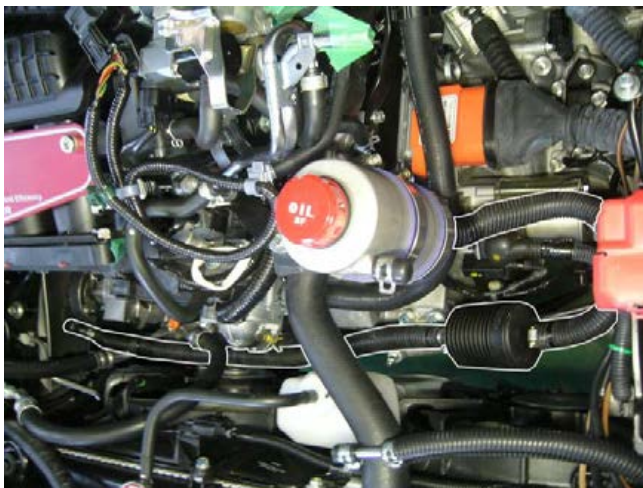
②スプリングワッシャー M6

③ワッシャー M6

を用い、車両に取付ける。

アドバイス

・ホースがキンクしないようトラクションオイルタンク ASSY の角度を調整する。



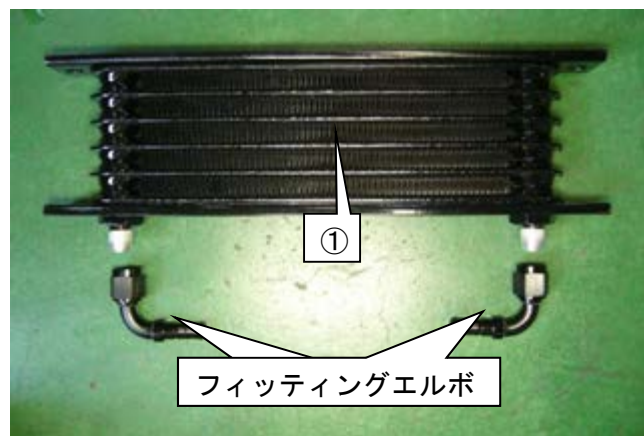
(8) フィッティングエルボを

①トラクションオイルクーラー

に取付ける。

アドバイス

・図のようにフッティングエルボの口がそれぞれ内側を向くように固定する。

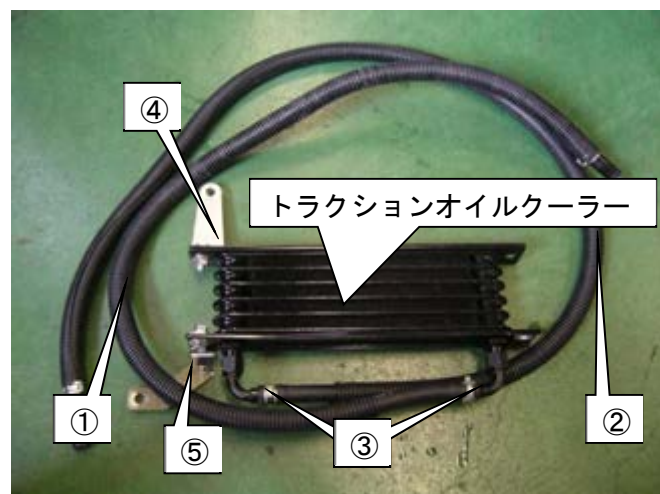


(9)①ホース φ8 L=1000 ・

②ホース φ8 L=1250 を

③ホースクリップ φ8 用

を用い、トラクションオイルクーラーに取付ける。



(10)④トラクションオイルクーラーブラケット No,1

⑤トラクションオイルクーラーブラケット No,2 を

⑥六角ボルト M8 L=20

⑦スプリングワッシャー M8

⑧ワッシャー M8

⑨フランジナット M8

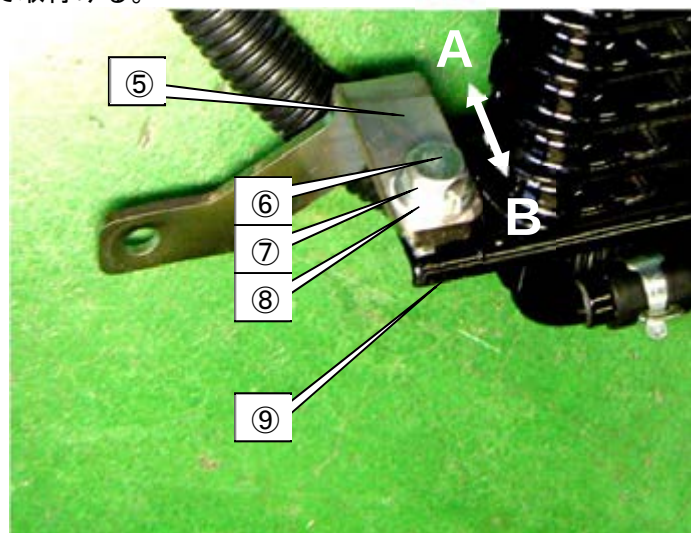
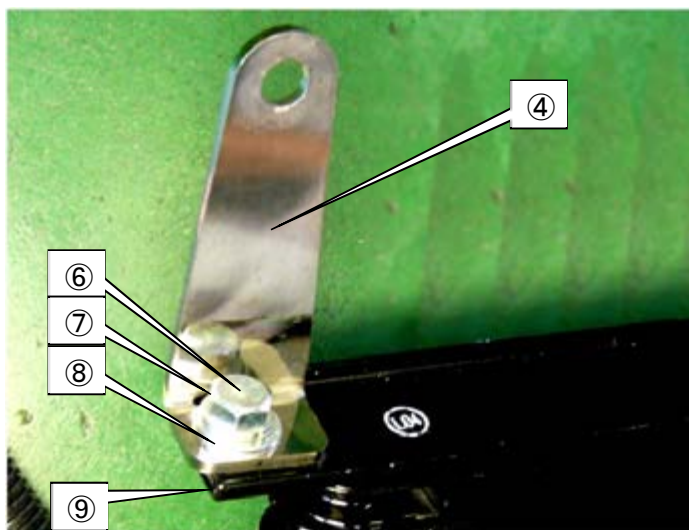
を用い、トラクションオイルクーラーに取付ける。

アドバイス

・⑤トラクションオイルクーラーブラケット No,2 を取付ける際

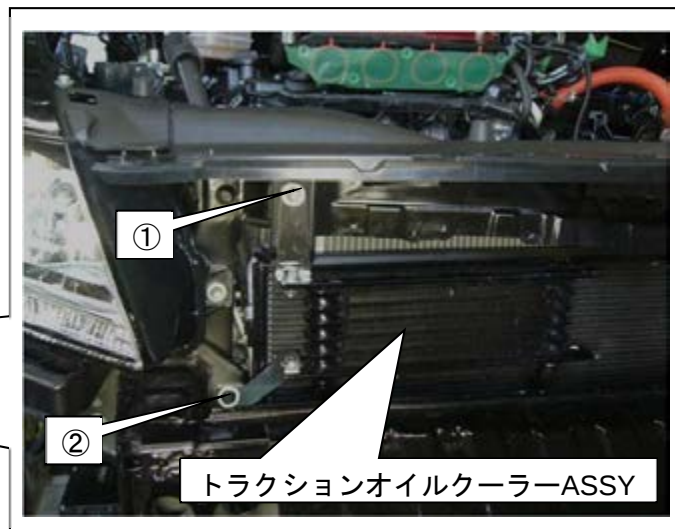
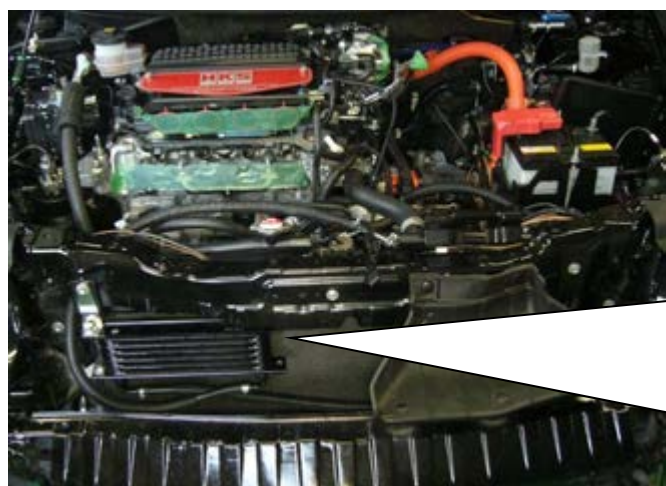
取付け部が長穴になっている為 JPN 車両の場合 A 方向に、USA 車両の場合 B 方向に

⑤トラクションオイルクーラーブラケット No,2 を寄せて取付ける。



(11)①・②のボルトを取外しトラクションオイルクーラーASSY を
共締めして、車両に取付ける。

※JPN 車両のみ



(12)①・②の純正ボルトを取外し、①ボルトは再使用②ボルトは代わりに

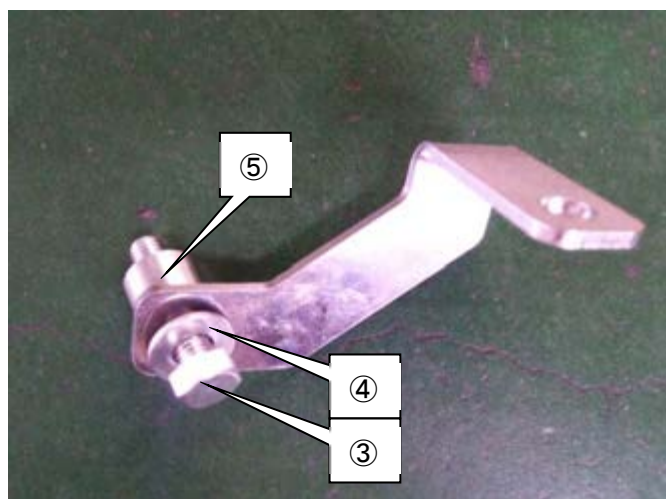
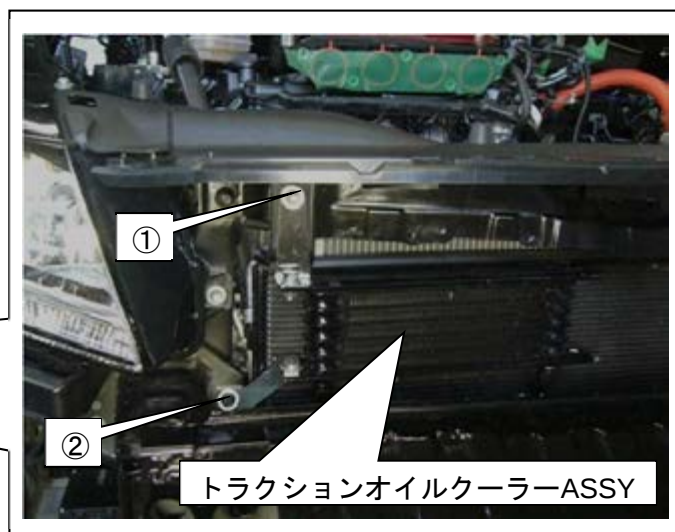
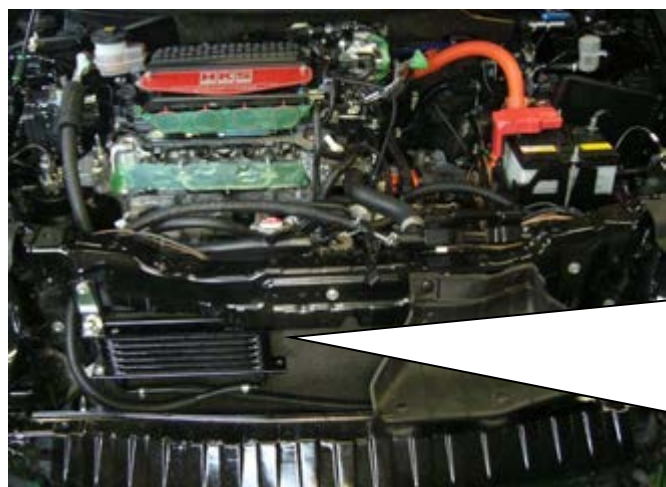
③六角ボルト M8 L=30

④ワッシャー M8

⑤スペーサー M8 L=10

を用い、トラクションオイルクーラーASSY を共締めして、車両に取付ける。

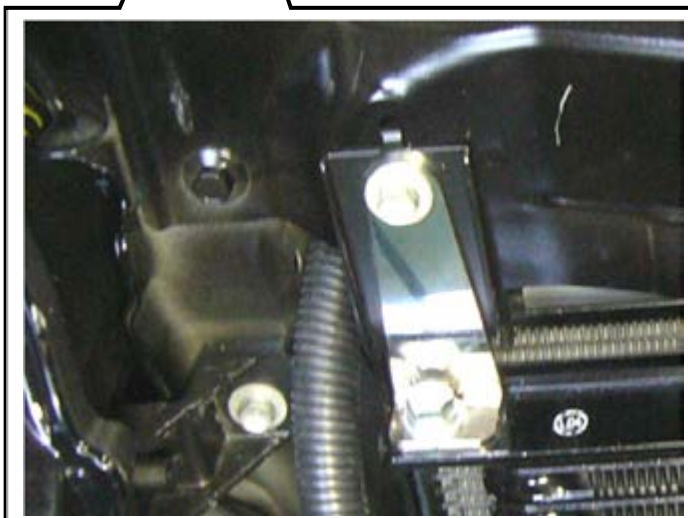
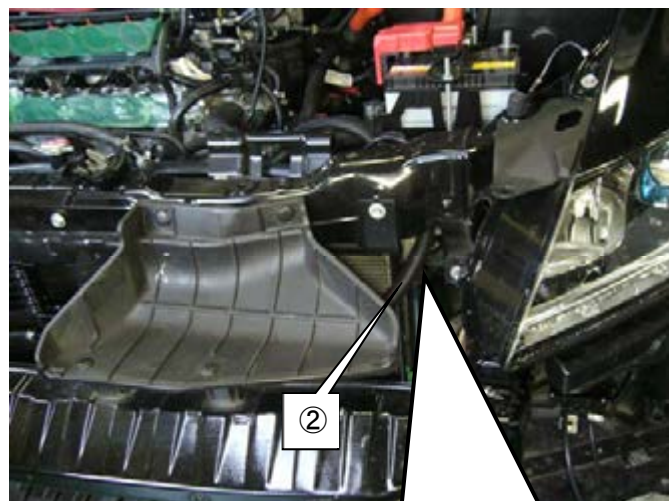
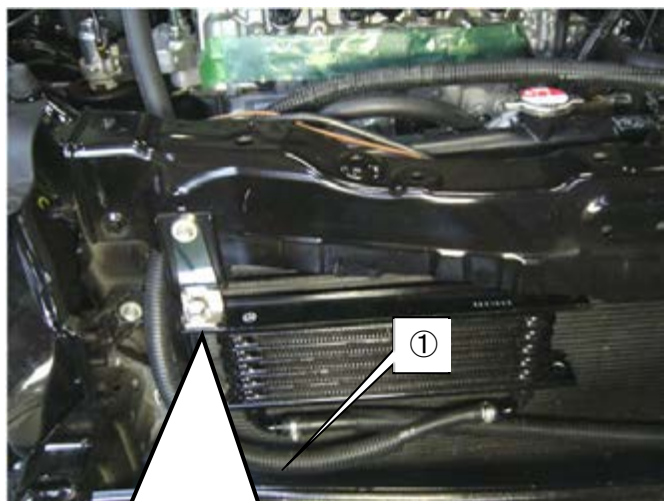
※USA 車両のみ



(13) ①ホース $\phi 8$ L=1000ASSY

②ホース $\phi 8$ L=1250ASSY

を、A/C コンデンサの両端からエンジンルーム内に引き込む。



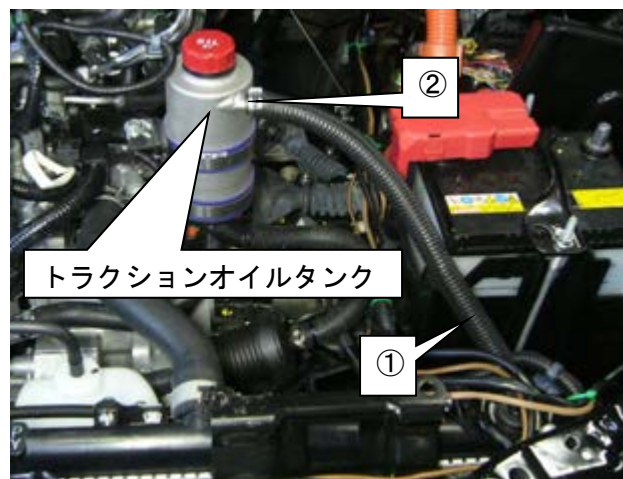
(14) トラクションオイルホース $\phi 8$ と他部品が干渉しないように図中①部にタイラップ を用い、固定する。

アドバイス

・ 指示箇所以外にも必要に応じてタイラップ を用い
トラクションオイルホースが他部品と干渉しないように固定する。



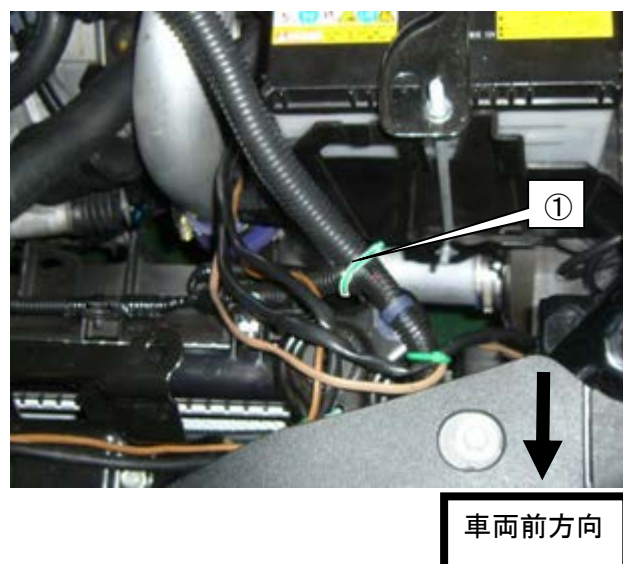
- (15) ①ホース $\phi 8$ L=1250 を
②ホースクリップ $\phi 8$ 用
を用い、トラクションオイルタンクに接続する。



- (16) トラクションオイルホース $\phi 8$ と他部品が
干渉しないように図中①部に
タイラップ を用い、固定する。

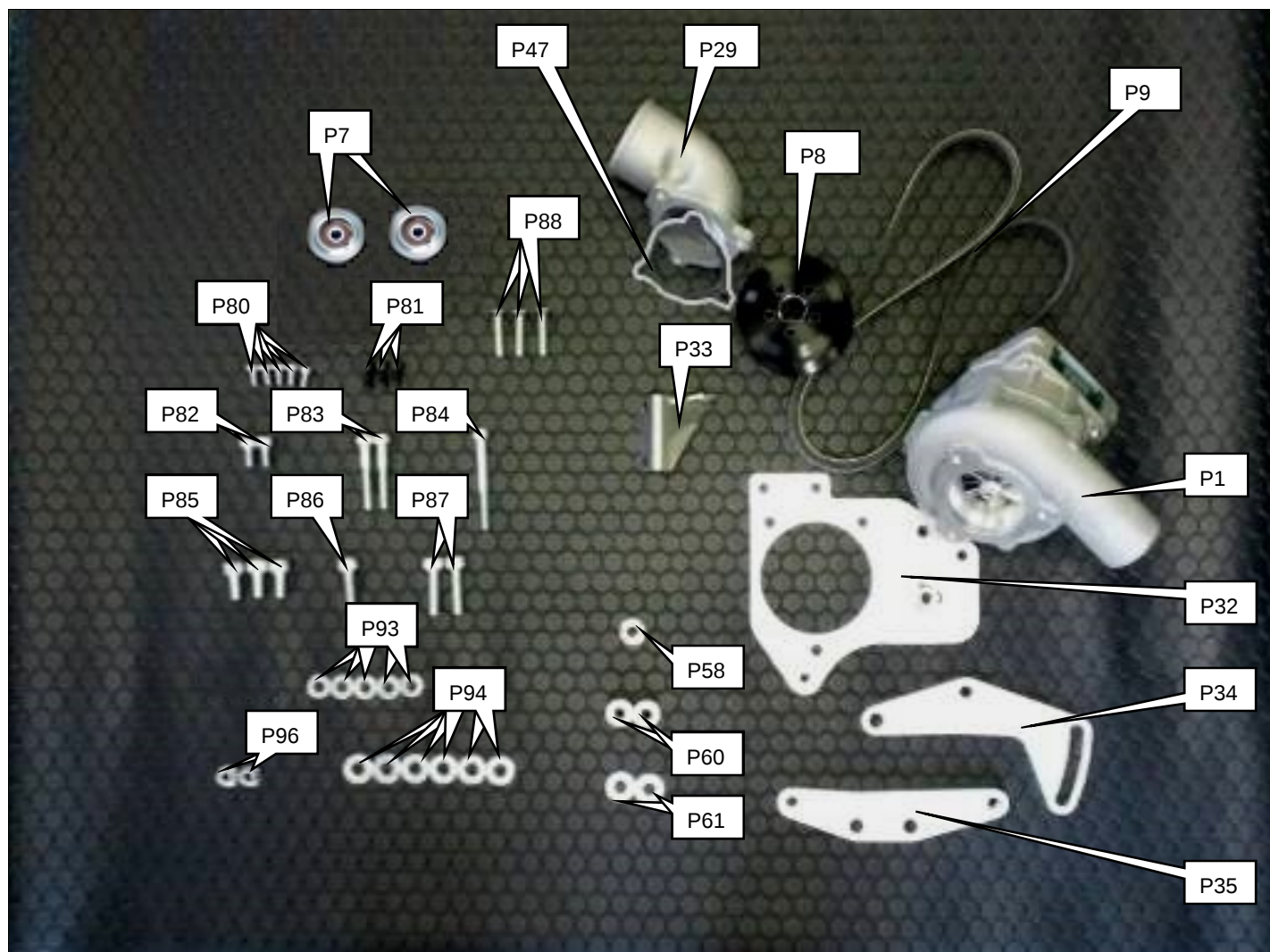
アドバイス

- ・ 指示箇所以外にも必要に応じてタイラップ を用い
トラクションオイルホースが他部品と
干渉しないように固定する。



3. GTスーパーチャージャー取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P1	スーパーチャージャー本体 ASSY	1
P7	プーリー アイドラー	2
P8	スーパーチャージャー本体プーリー	1
P9	ベルト	1
P29	サクシヨンパイプ No,1	1
P32	スーパーチャージャーブラケット No,1	1
P33	スーパーチャージャーブラケット No,2	1
P34	テンショナーブラケット No,1	1
P35	テンショナーブラケット No,2	1
P47	サクシヨンパイプガスケット	1
P58	スペーサー M8 L=5	1
P60	スペーサー M8 L=25	2
P61	スペーサー M10 L=4	2
P80	キャップボルト M6 L=12	5

P81	キャップボルト M6 L=18	3
P82	キャップボルト M8 L=20	2
P83	キャップボルト M8 L=50	2
P84	キャップボルト M8 L=70	1
P85	キャップボルト M10 L=20	2
P86	キャップボルト M10 L=35	3
P87	キャップボルト M10 L=45	1
P88	皿ボルト M8 L=35	3
P93	ワッシャー M8	5
P94	ワッシャー M10	6
P96	フランジナット M8	2

(1) プーリーアイドラφ60を

①キャップボルト M10 L=45

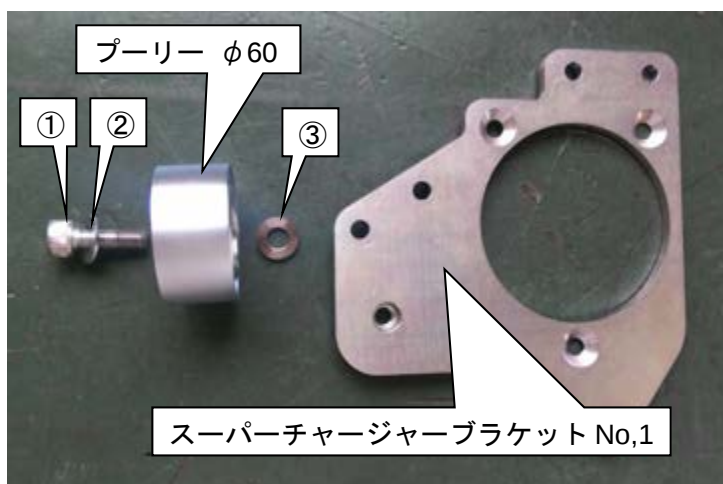
②ワッシャー M10

③スペーサー M10 L=4

を用い、スーパーチャージャーブラケット No,1に
取付ける。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=43(4.38)



アドバイス

・プーリーには表裏がある為、図を参考に、
スナップリングが見える側を上にして固定する。



(2)スーパーチャージャーブラケット No,1 を

①キャップボルト M8 L=70

②キャップボルト M8 L=50

③ワッシャー M8

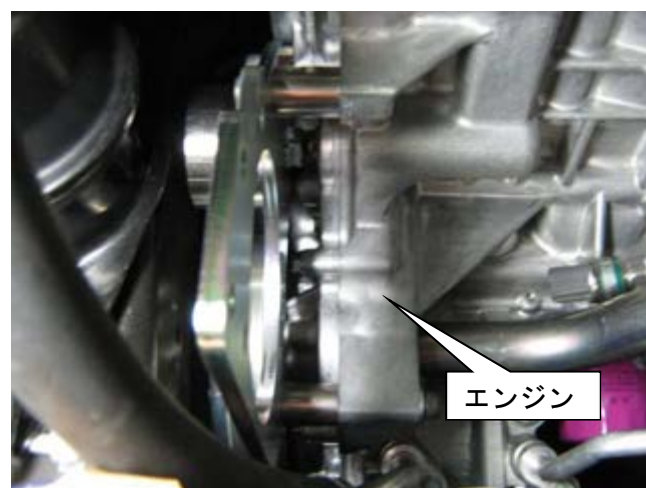
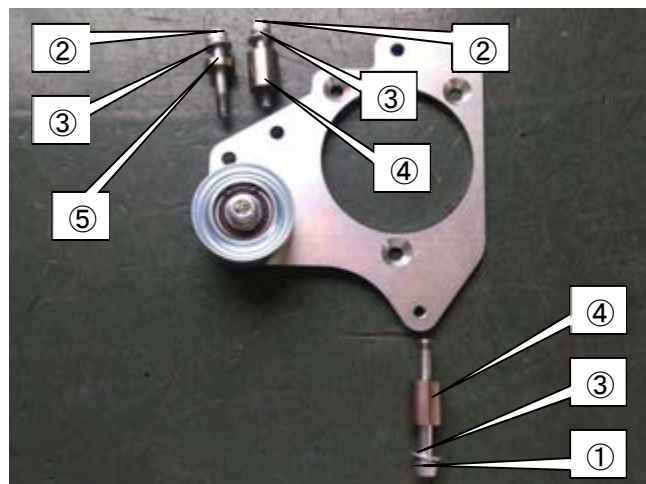
④スペーサー M8 L=25

⑤スペーサー M8 L=5

を用い、エンジンに取付ける。

締付けトルク N・m (kgf・m)

T=24 (2.45)



(3)純正エンジンオイルレベルゲージを

車両から取外し、図のように切断する。

その後、先端に穴を開け、付属のタイラップで
輪を作り、持ち手とする。

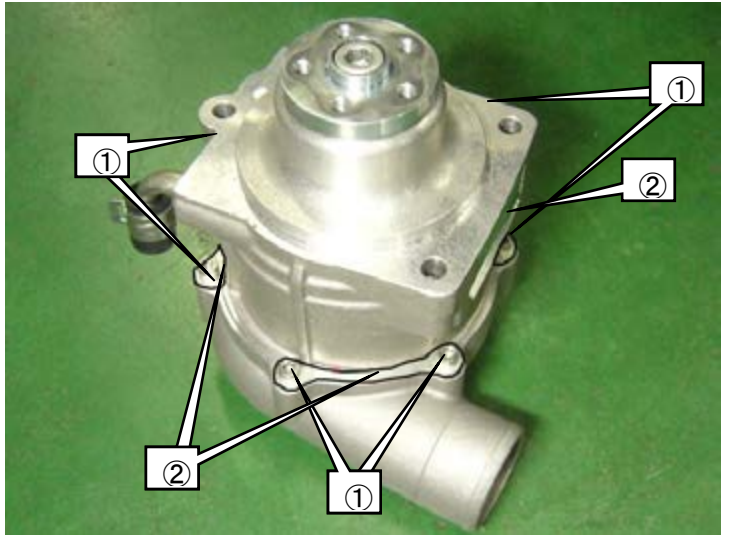


(4)加工した純正エンジンオイルレベルゲージを
車両に取付ける。

(5)スーパーチャージャー本体 ASSY の

①コンプレッサーハウジング固定ボルト
を、緩め

②コンプレッサーハウジング固定プレートを
浮かせる。



(6)スーパーチャージャー本体と

③コンプレッサーハウジングを回転させ

④スーパーチャージャーASSY のプレートの両端の中心線と

⑤2本のコンプレッサーハウジング固定ボルト間の中心線が
12mm ずれるように角度出しをし、

①コンプレッサーハウジング固定ボルト

②コンプレッサーハウジング固定プレートを

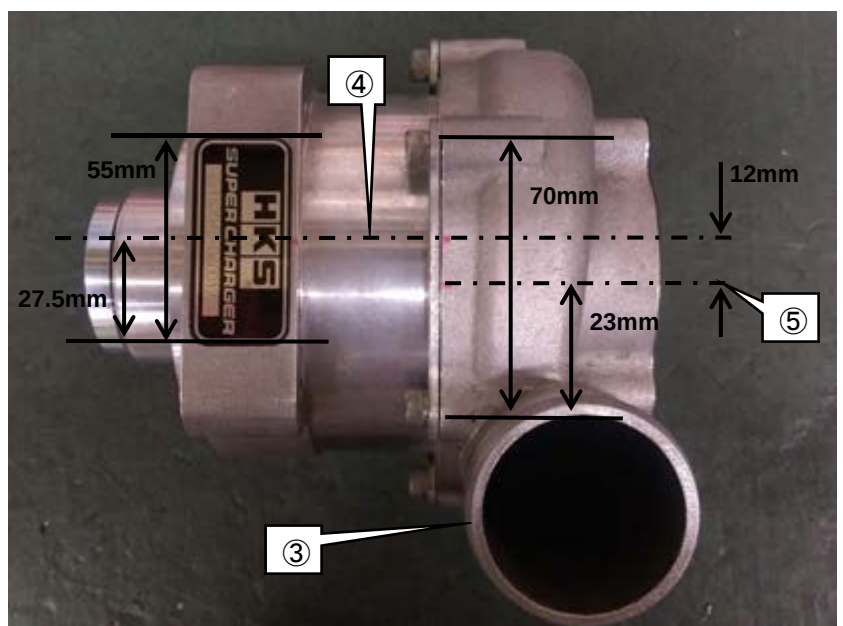
を用い、固定する。

アドバイス

・角度出し終了後、スーパーチャージャー本体 ASSY・純正インテークマニホールドを車両に仮付けして、サク
ションパイプを仮付けする。その後、干渉が無いかを
確認し、干渉があれば再度、角度出しの
微調整をする。

締付けトルク N・m (kgf・m)

T=5 (0.51)



(7) スーパーチャージャー本体 ASSY から、ゴムキャップ、ホースクリップを取り外し、

①ホース $\phi 8$ L=1000

②ホース $\phi 10$ L=570

をスーパーチャージャー本体 ASSY から取外した

③ホースクリップ $\phi 8$ 用

④ホースクリップ $\phi 10$ 用

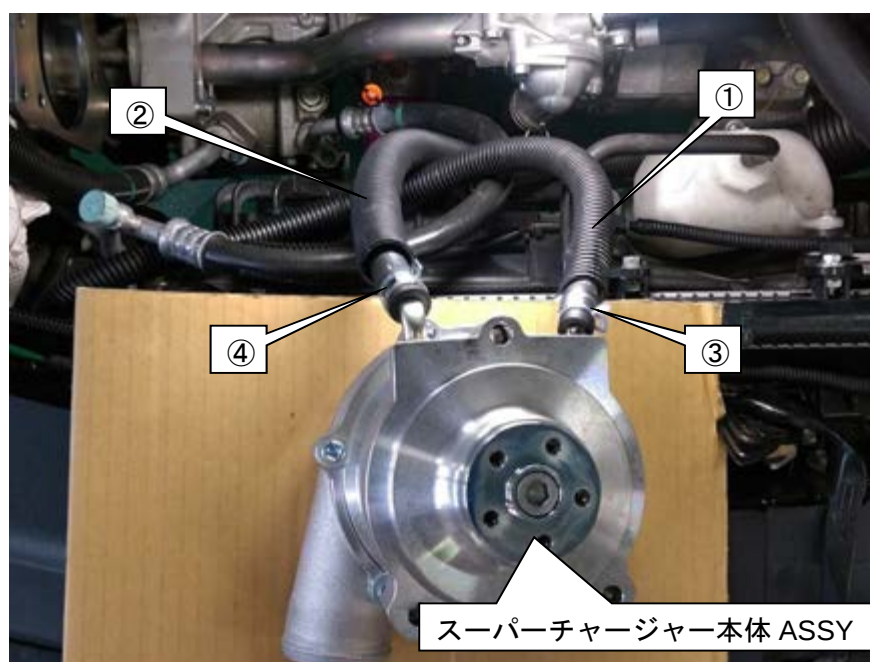
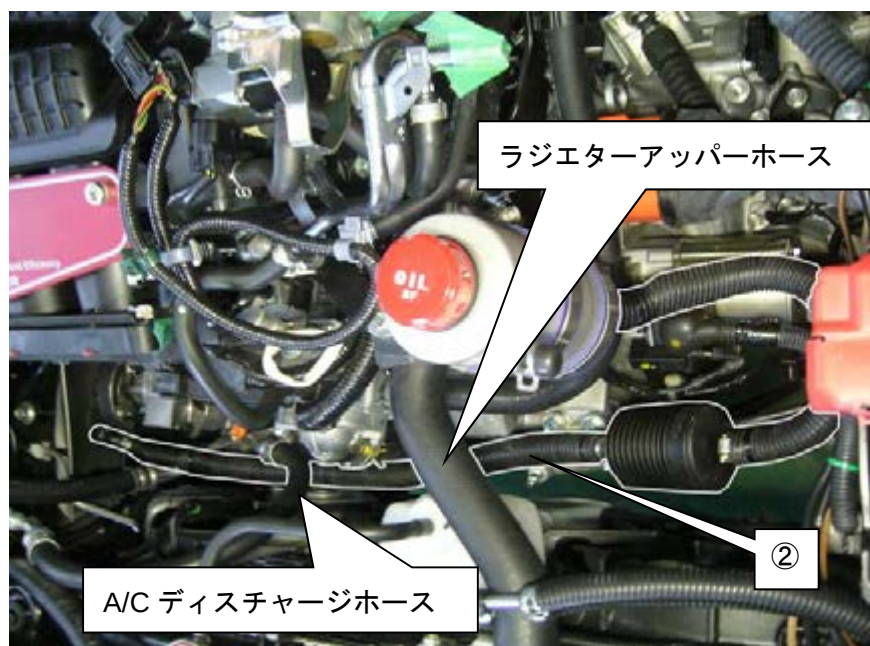
を用い、スーパーチャージャー本体 ASSY に接続する。

アドバイス

・図のようにラジエターコアサポート上に緩衝材を置きスーパーチャージャーを乗せて作業をする。

・ホース $\phi 10$ L=570 はラジエターアッパーホース・A/C ディスチャージホースの下側を通し、スーパーチャージャー本体 ASSY に接続する。

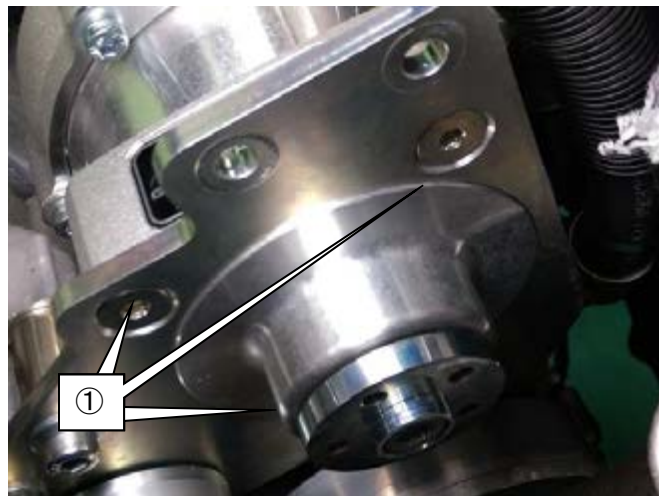
・ホース $\phi 10$ L=570 はスーパーチャージャー本体 ASSY を車両に取付けた際にホース $\phi 8$ L=1000 の下側を通るように接続する。



(8)スーパーチャージャー本体 ASSY を

①皿ボルト M8 L=35

を用い、スーパーチャージャーブラケット No,1 に取付ける。



(9)スーパーチャージャー本体プーリーを

①キャップボルト M6 L=12

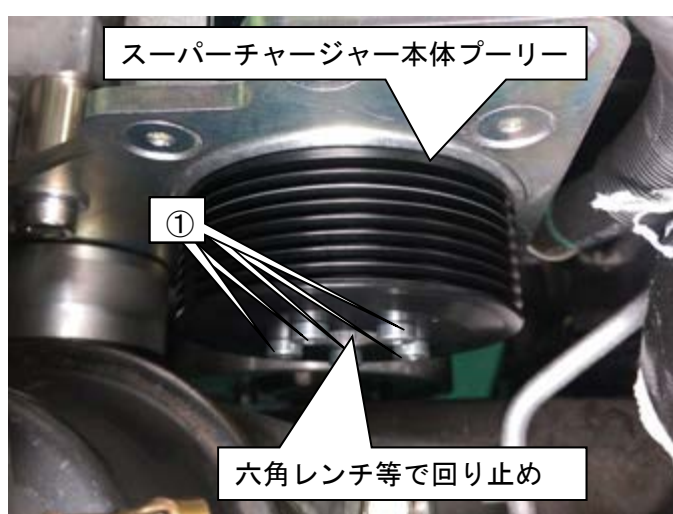
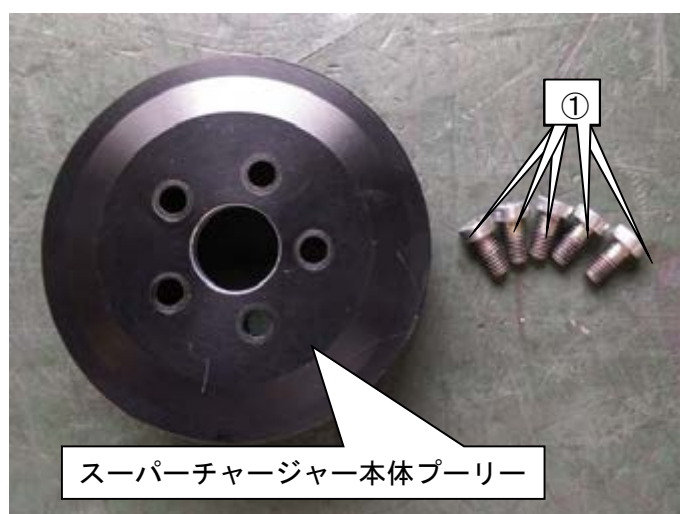
を用い、スーパーチャージャー本体 ASSY に取付ける。

アドバイス

・キャップボルトへキサゴンの締付けの際、スーパーチャージャー本体 ASSY のセンターが回らないように六角レンチ等で回り止めをする。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=10 (1.02)

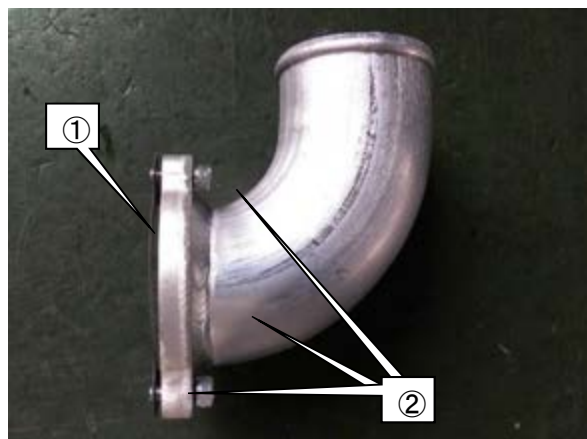


(10)サクションパイプ No,1 を

①サクションパイプガasket

②キャップボルト M6 L=18

を用い、スーパーチャージャー本体 ASSY に取付ける



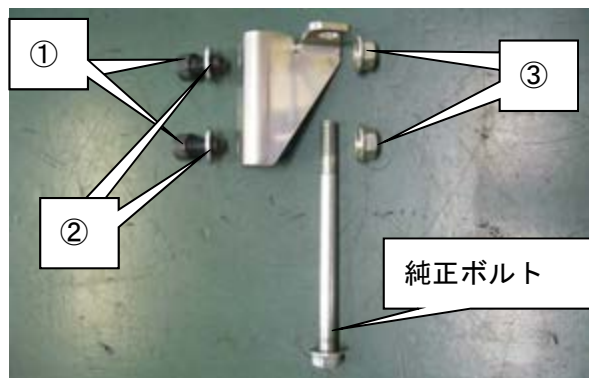
(11)純正インテークマニホールドを取付け、
純正ボルト

①キャップボルト M8 L=20

②ワッシャー M8

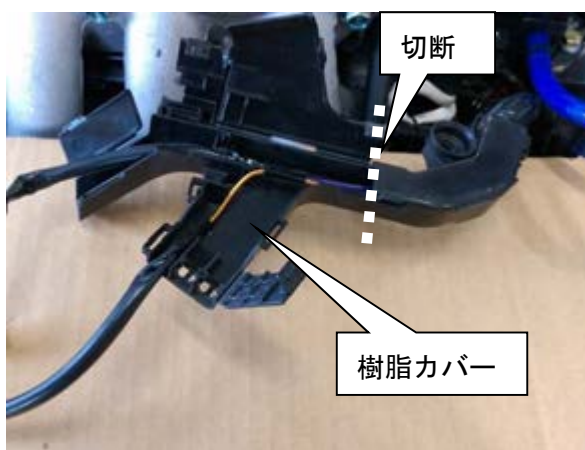
③フランジナット M8

を用い、スーパーチャージャーブラケット No,2 を取付ける。



(12)ノックセンサーハーネス、オイルプレッシャセンサーハーネスを覆っている、
樹脂製カバーを加工する。

右図の点線部で樹脂カバーを切断。

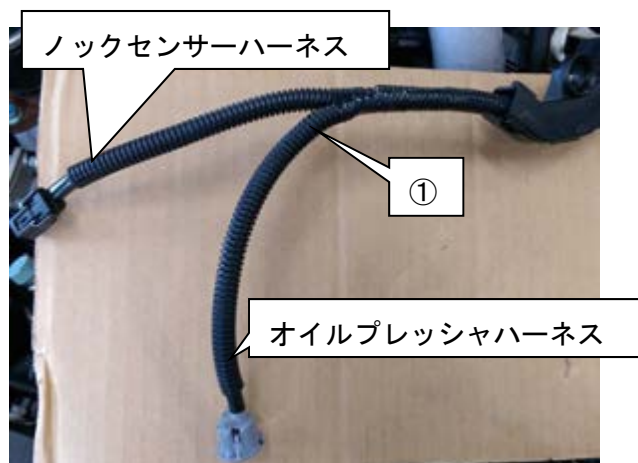


(13)樹脂カバー切断後、付属の

①コルゲートチューブ センサー配線用

にて、ロックセンサー、オイルプレッシャセンサーハーネスを覆う。

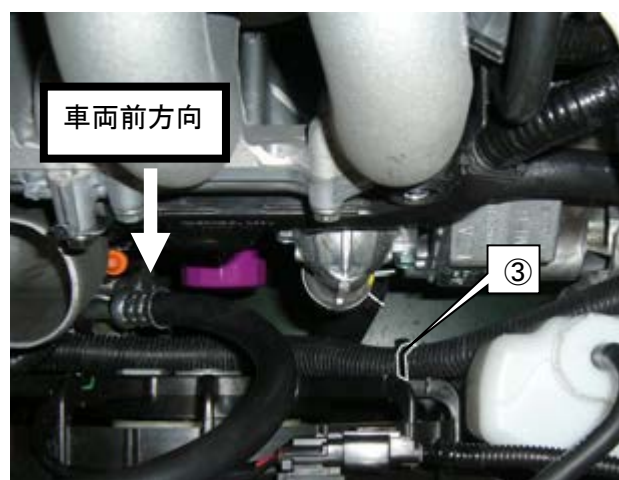
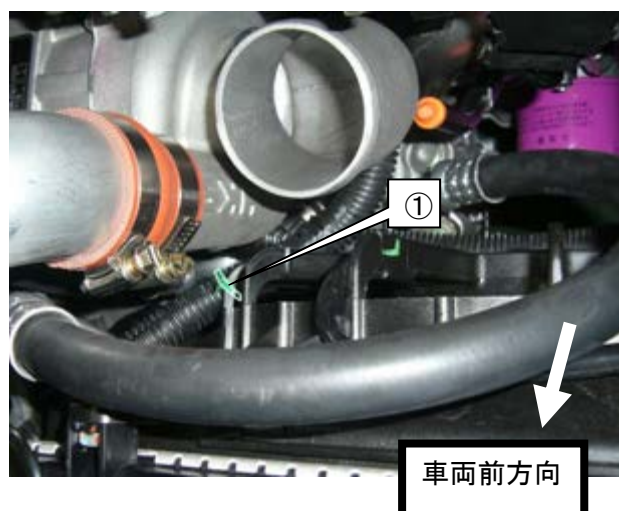
その後、純正ボルトを使用し、配線を固定する。



(14)トラクションオイルホース $\phi 8 \cdot \phi 10$ と他部品が干渉しないように図中①～③部にタイラップ を用い、固定する。

アドバイス

・指示箇所以外にも必要に応じてタイラップ を用いトラクションオイルホースが他部品と干渉しないように固定する。



(15) テンショナーブラケット No.2 を

①キャップボルト M10 L=35

②ワッシャー M10

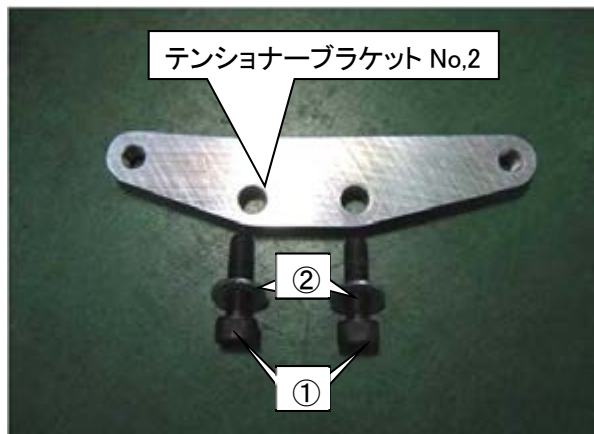
を用い、エンジン下部に取付ける。

アドバイス

・テンショナーブラケット No.2 には向きがあるため、図を参考に表裏に注意して取付けを行なう。

締付けトルク N・m(kgf・m)

T=43 (4. 38)



(16) プーリー φ60 を

①キャップボルト M10 L=35

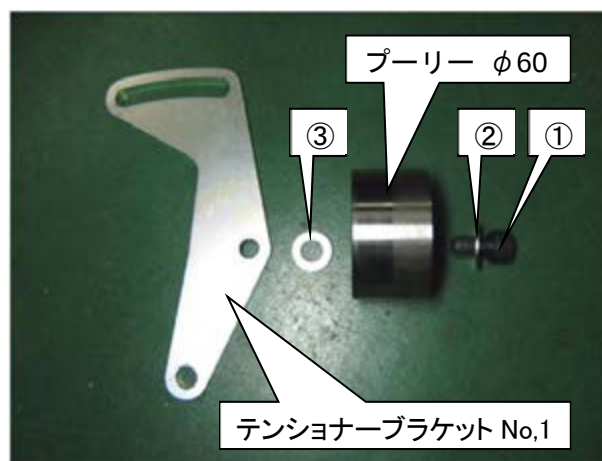
②ワッシャー M10

③スペーサー M10 L=4

を用い、テンショナーブラケット No.1 に取付ける。

締付けトルク N・m(kgf・m)

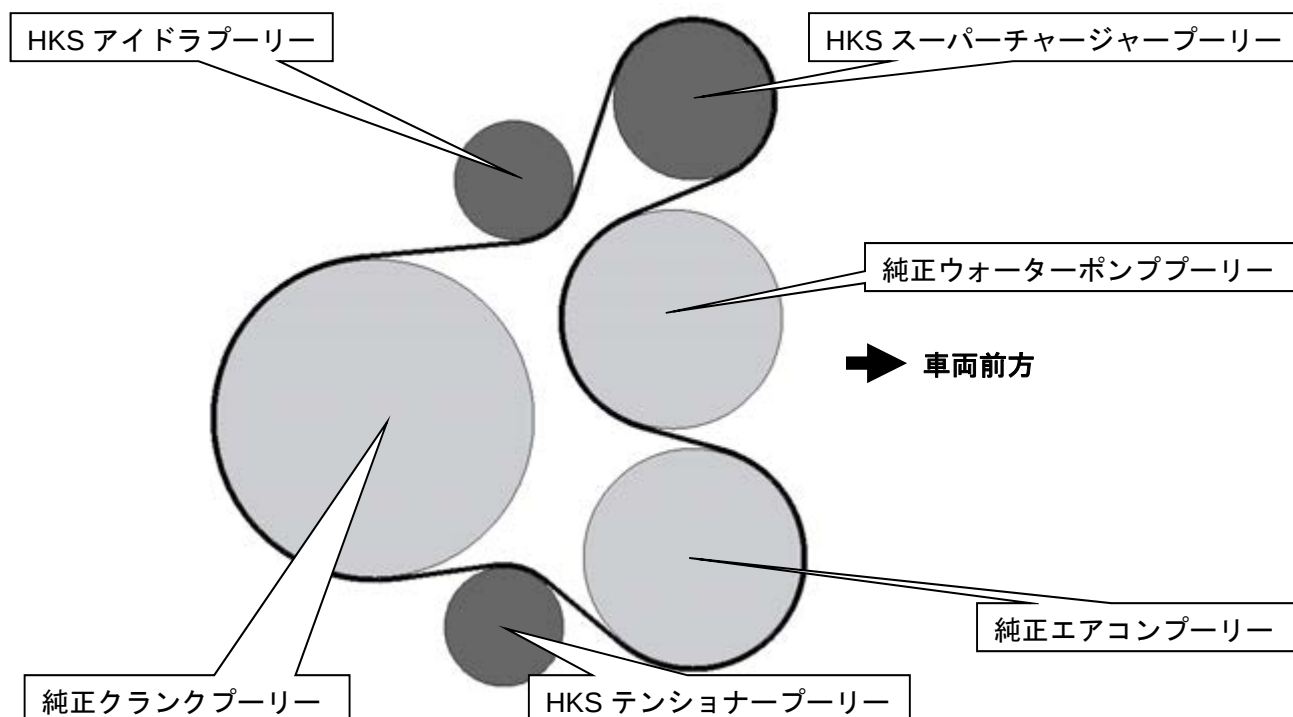
T=35 (3. 57)



(17)ベルトを図のようなレイアウトで取付ける。

アドバイス

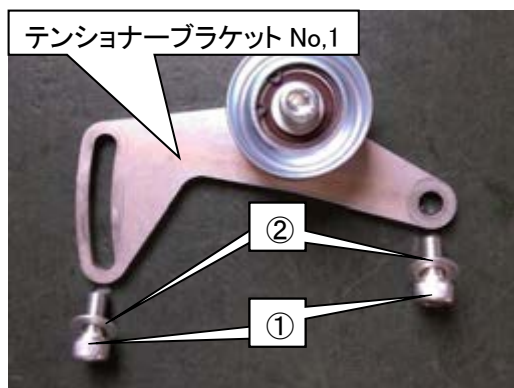
- ・取付けが難しい場合は純正クランクプーリーを時計回りに回転させながらベルトを取付ける。
- ・HKS スーパーチャージャープーリーは 8 リブ仕様の為、ベルトは助手席側の 4 リブに取付ける。



(18) テンショナーブラケット No.1 を

- ①キャップボルト M10 L=20
- ②ワッシャー M10

を用い、テンショナーブラケット No.2 に取付け、テンショナーブラケット No.1 を上下させ、指定張力でベルトを張る。



計測位置	ベルトスパン※	指定張力 (N { kgf })
アイドラプーリー・クランクプーリー間	130mm	650{66.3}

※ベルトスパンは張力測定時に測定器に入力してください。

アドバイス

- ・ベルト取付け直後の張り点検は、基準値に調整後プーリー間張力のバラツキをなくすため、クランクシャフトを 2 回転以上回して再測定し、基準値に調整する。
- ・ベルトは使用開始後、使用状況により 2~20 時間で張力が安定するため指定張力になるように必ず点検・調整を行なう。使用開始直後はベルトの伸びも大きいため、こまめに点検、調整を行なう。
- ・ベルトが各プーリーの溝にしっかり合っているか確認する。

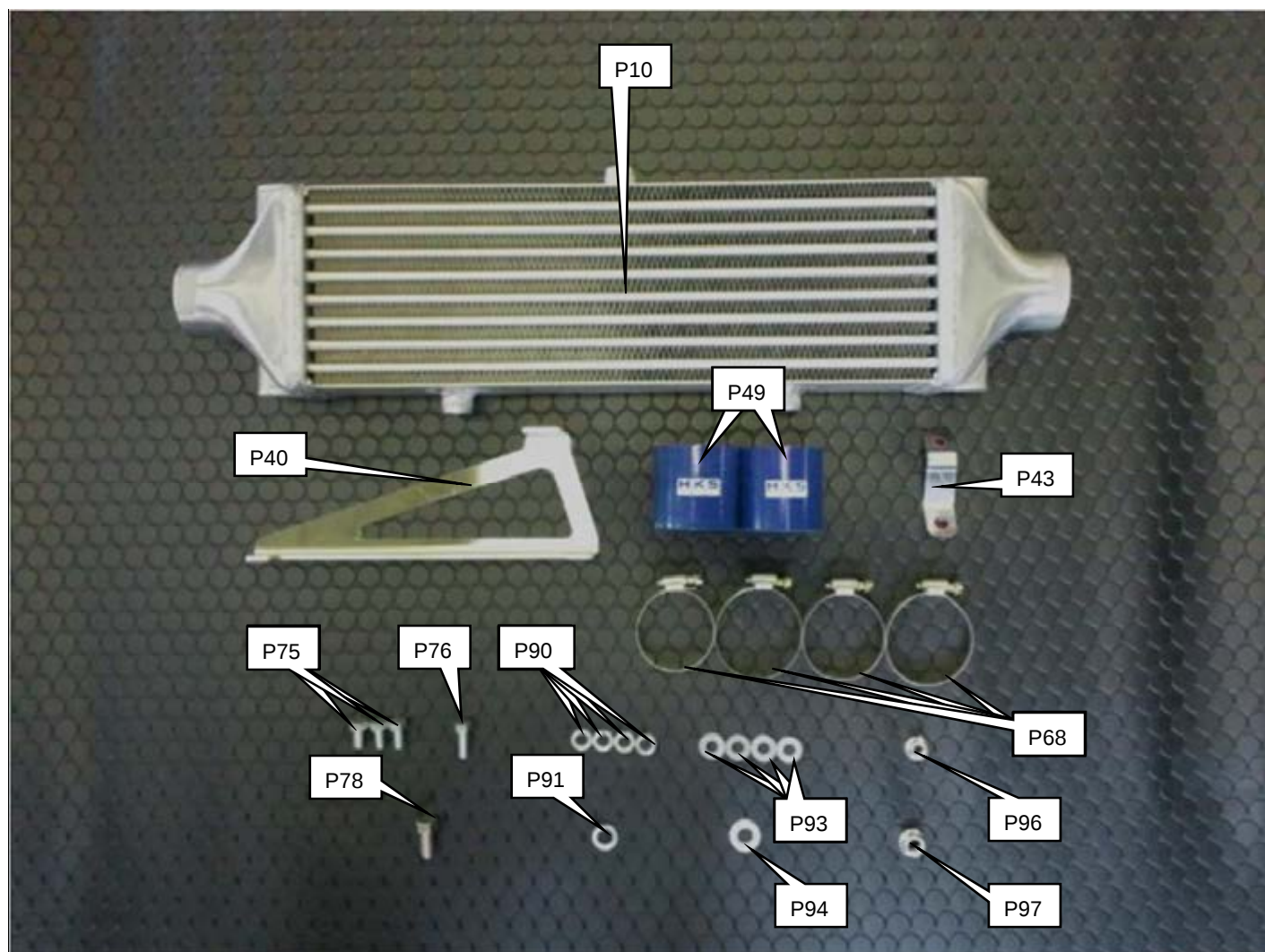
締付けトルク N・m(kgf・m)

T=43 (4.38)

4. インタークーラー・パイピング取付け

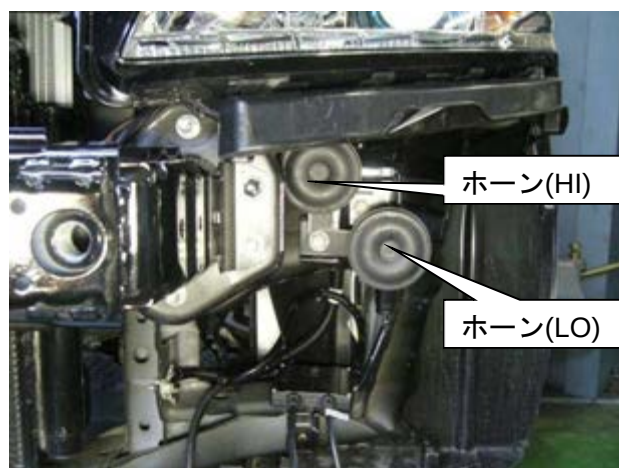
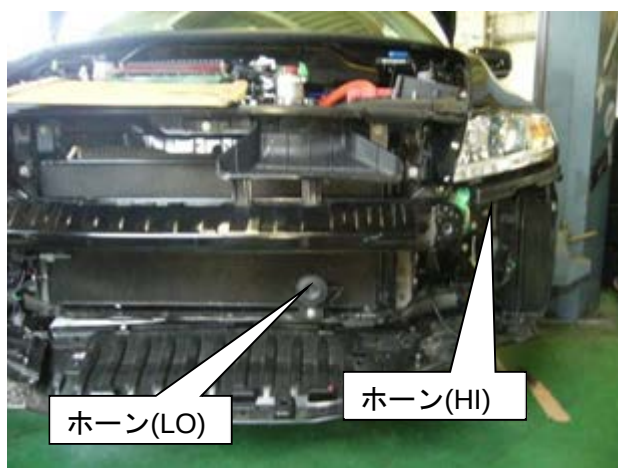
・インタークーラー取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P10	インタークーラー	1
P40	オイルクーラーブラケット No.3	1
P43	インタークーラーブラケット	1
P49	シリコンホース φ50 L=55	2
P68	ホースバンド #28	4
P75	六角ボルト M8 L=15	3
P76	六角ボルト M8 L=20	1
P78	六角ボルト M10 L=20	1
P90	スプリングワッシャー M8	4
P91	スプリングワッシャー M10	1
P93	ワッシャー M8	4
P94	ワッシャー M10	1
P96	フランジナット M8	1
P97	フランジナット M10	1

(1) 純正ホーン(LO)を取外し、純正ホーン(HI)に共締めする。



(2) トラクションオイルクーラーブラケット No,3 を

①六角ボルト M8 L=15

②スプリングワッシャー M8

③ワッシャー M8

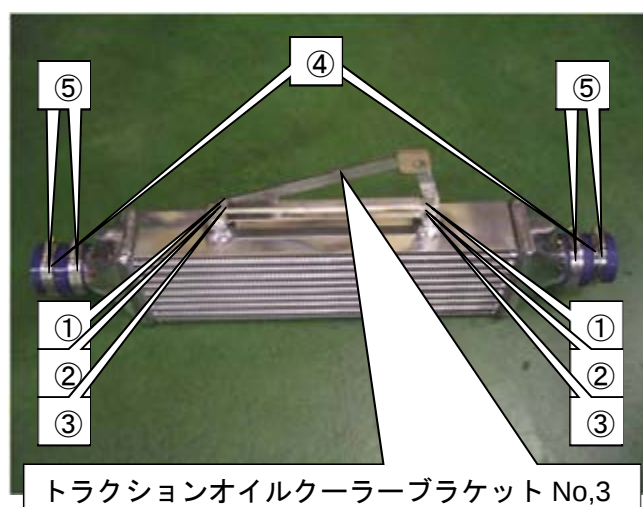
を用いインタークーラーに仮付けし、

(3)インタークーラーASSY に

④シリコンホース $\phi 50$ L=55

⑤ホースバンド #28

を通す。



(4)インタークーラーブラケットを

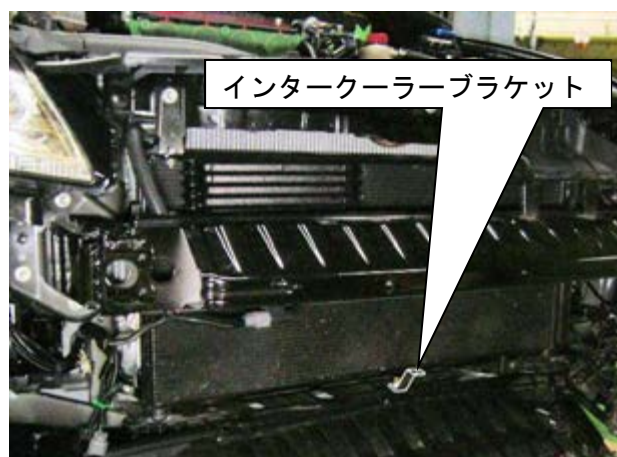
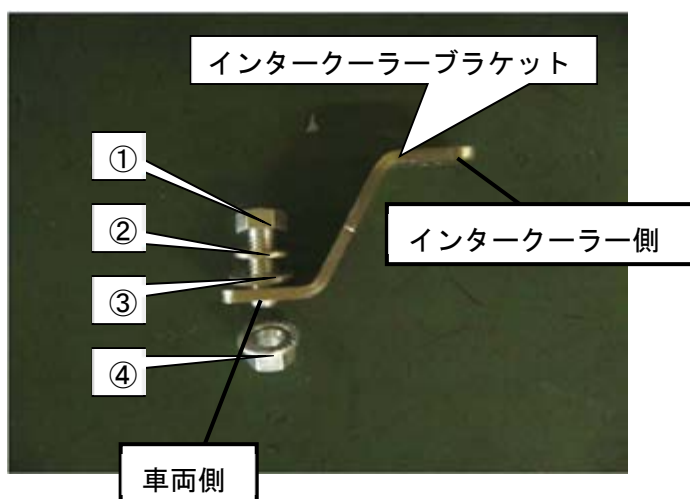
①六角ボルト M10 L=20

②スプリングワッシャー M10

③ワッシャーM10

④フランジナット M10

を用い、車両に仮付けする。



(5) インタークーラー-ASSY を

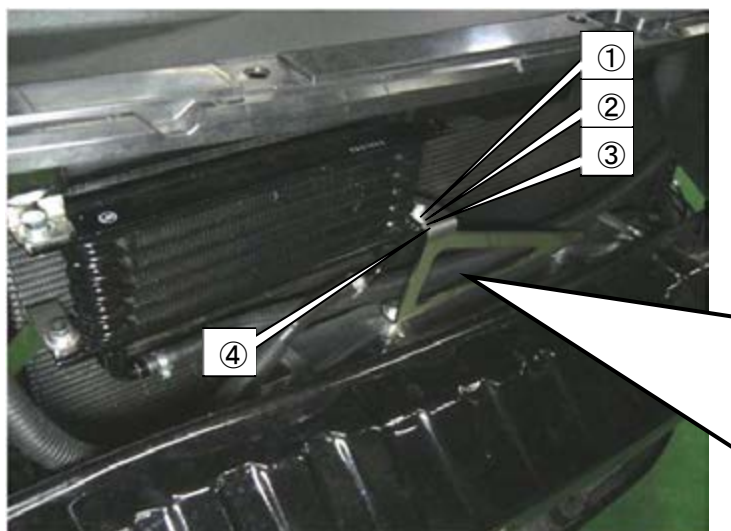
①六角ボルト M8 L=20

②スプリングワッシャー M8

③ワッシャー M8

④フランジナット M8

を用い、トラクションオイルクーラーに仮付けする。



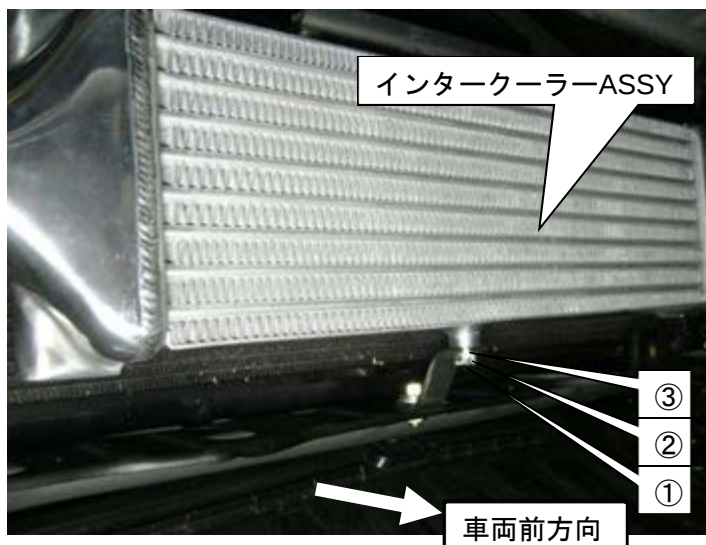
(6) インタークーラー-ASSY を

①六角ボルト M8 L=15

②スプリングワッシャー M8

③ワッシャー M8

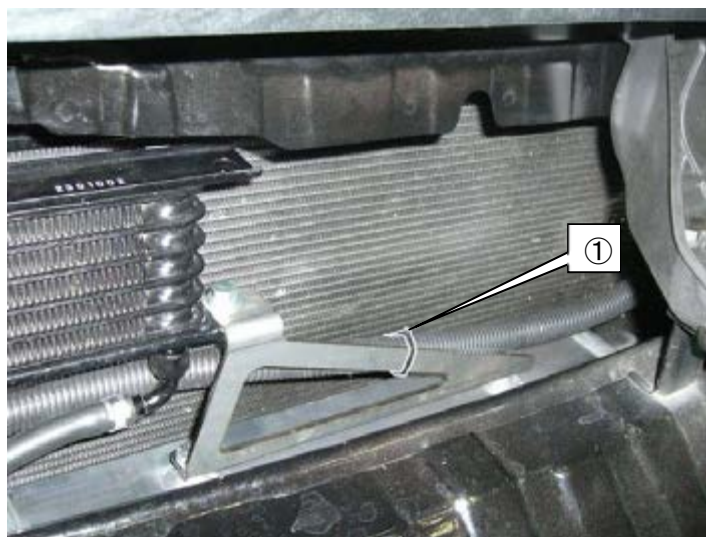
を用い、車両と仮付けし位置出しをして、
仮付けした各ボルト・ナットを本締めする。



(7) トラクションオイルホース φ8 と他部品が
干渉しないように図中①部に
タイラップ を用い、固定する。

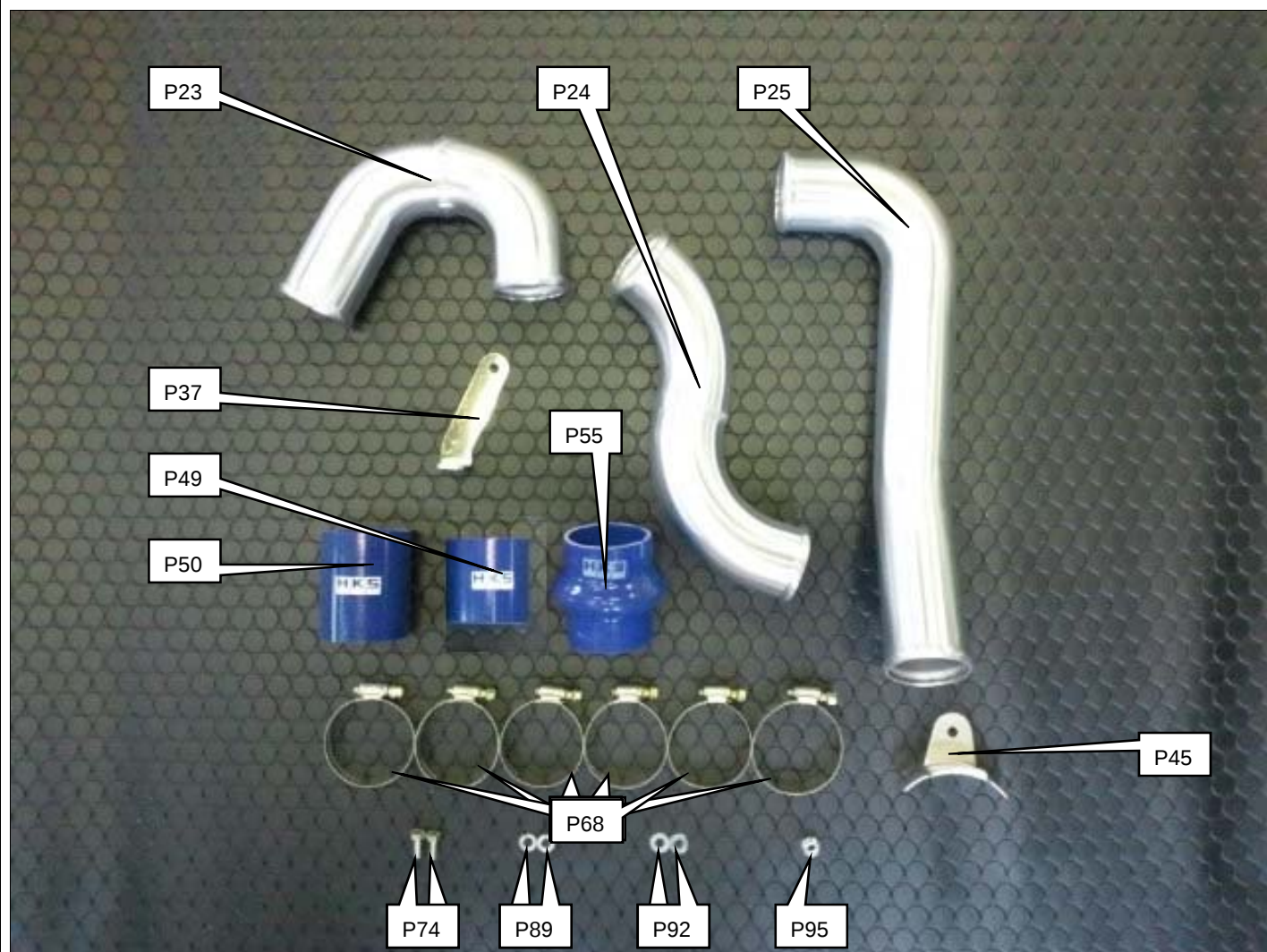
アドバイス

・指示箇所以外にも必要に応じてタイラップ を用い
トラクションオイルホースが他部品と
干渉しないように固定する。



・インタークーラーインレットパイプ取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P23	インタークーラーインレットパイプ No.1	1
P24	インタークーラーインレットパイプ No.2	1
P25	インタークーラーインレットパイプ No.3	1
P37	インタークーラーインレットパイプブラケット	1
P45	汎用パイプブラケット φ50 用	1
P49	シリコンホース φ50 L=55	1
P50	シリコンホース φ50 L=70	1
P55	クッションホース φ50 L=75	1
P68	ホースバンド #28	6
P74	六角ボルト M6 L=15	2
P89	スプリングワッシャー M6	2
P92	ワッシャー M6	2
P95	フランジナット M6	1

(8)インタークーラーインレットパイプ No,2 に

①シリコンホース φ50 L=70

②汎用パイプブラケット φ50 用

③ホースバンド #28

④六角ボルト M6 L=15

⑤スプリングワッシャー M6

⑥ワッシャー M6

⑦フランジナット M6

を用い、

⑧インタークーラーインレットパイプブラケット

を仮付けし、

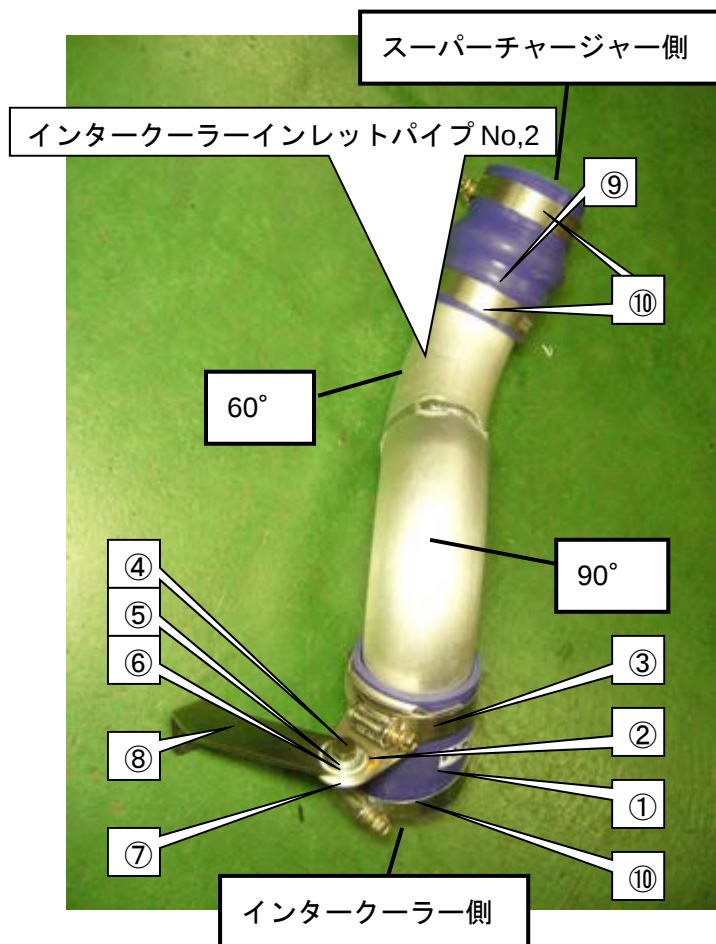
⑨クッションホース φ50 L=75

⑩ホースバンド #28

を通す。

アドバイス

・⑧インタークーラーインレットパイプブラケットは、
②汎用パイプブラケット φ50 用の
上側になるように取付ける。



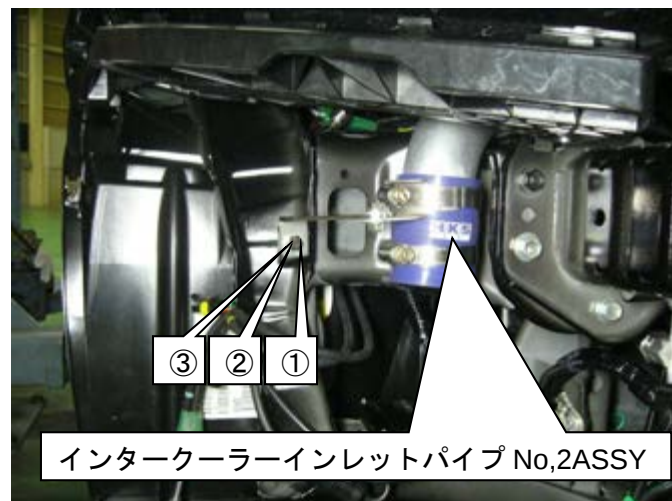
(9)インタークーラーインレットパイプ No,2ASSY を

①六角ボルト M6 L=15

②スプリングワッシャー M6

③ワッシャー M6

を用い、車両に仮付けする。



(10)インタークーラーインレットパイプ No,3 を
車両に仮付けする。



(11)インタークーラーインレットパイプ No,1 を

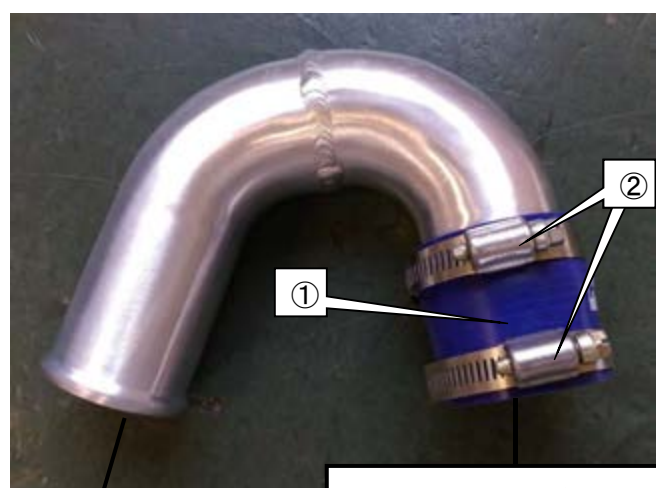
①シリコンホース φ50 L=55

②ホースバンド #28

を用い、車両に仮付けし、インタークーラーインレットパイプ No,1.2.3 の位置出しをして
仮付けした、各ボルト・ホースバンドを本締めする。

アドバイス

・取付けたパイプと車両との干渉を確認し、干渉する可能性のある場所には
付属のスポンジシートを貼り付ける。

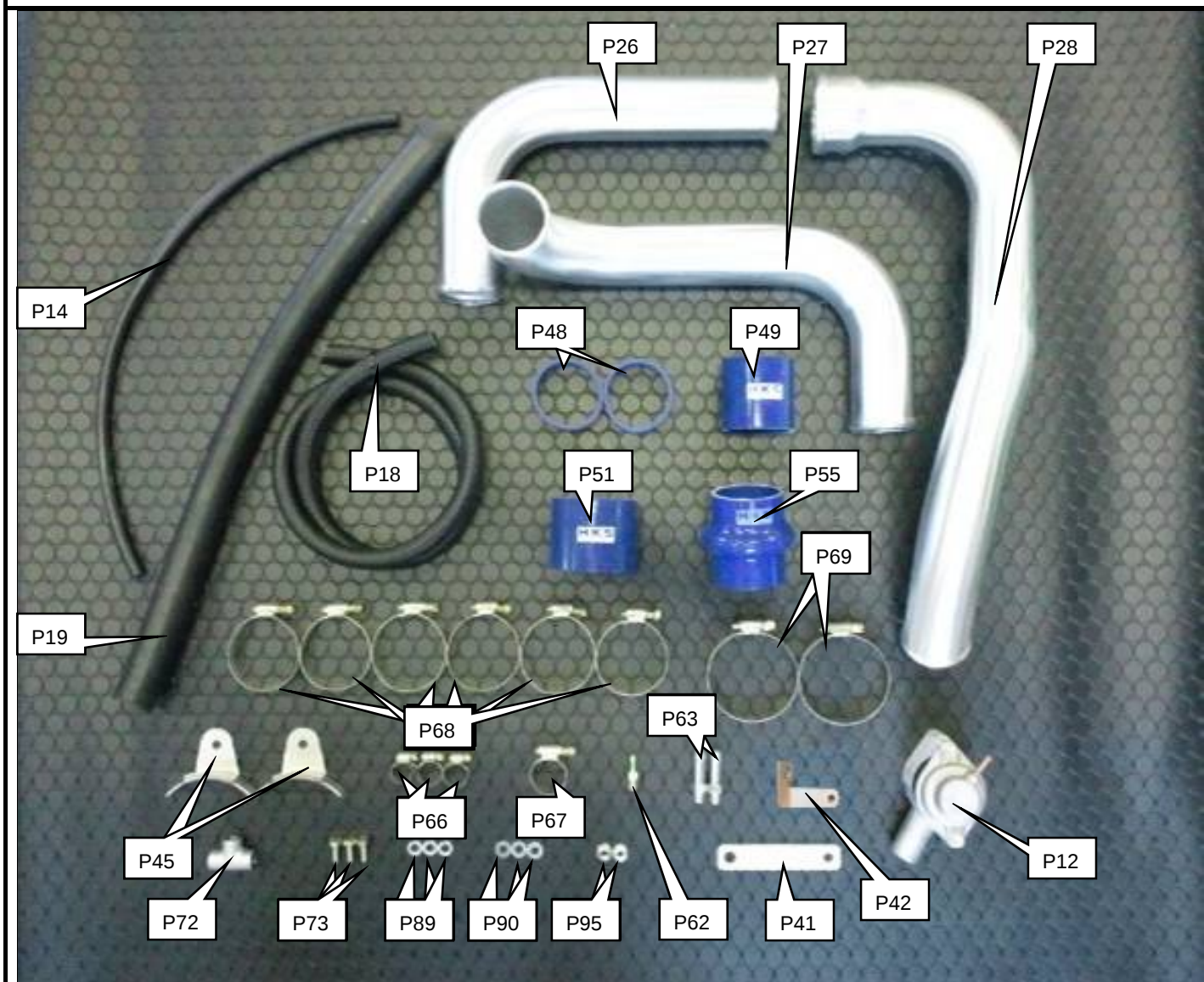


インタークーラーインレットパイプ No,2 側



・インタークーラーアウトレットパイプ取付け

パーツリスト



No.	品名	数量
P12	リリーフバルブ ASSY	1
P14	ホース φ4	1
P17	ホース φ22	1
P18	耐油ホース φ10	1
P26	インタークーラーアウトレットパイプ No,1	1
P27	インタークーラーアウトレットパイプ No,2	1
P28	インタークーラーアウトレットパイプ No,3	1
P41	インタークーラーアウトレットパイプブラケット No,1	1
P42	インタークーラーアウトレットパイプブラケット No,2	1
P45	汎用パイプブラケット φ50 用	2
P48	シリコンホース φ50 L=20	2
P49	シリコンホース φ50 L=55	1
P51	シリコンホース φ60 L=55	1
P55	クッションホース φ50 L=75	1

P62	ホースニップル φ4 用	1
P63	ホースニップル φ10 用	2
P66	ホースバンド #4	3
P67	ホースバンド #16	1
P68	ホースバンド #28	6
P69	ホースバンド #36	2
P72	チーヅ PT1/8	1
P73	六角ボルト M6 L=15	3
P89	スプリングワッシャー M6	3
P92	ワッシャー M6	3
P95	フランジナット M6	2

(12)インタークーラーアウトレットパイプ No,1 を
車両に仮付けする。



(13)インタークーラーアウトレットパイプ No,2 に

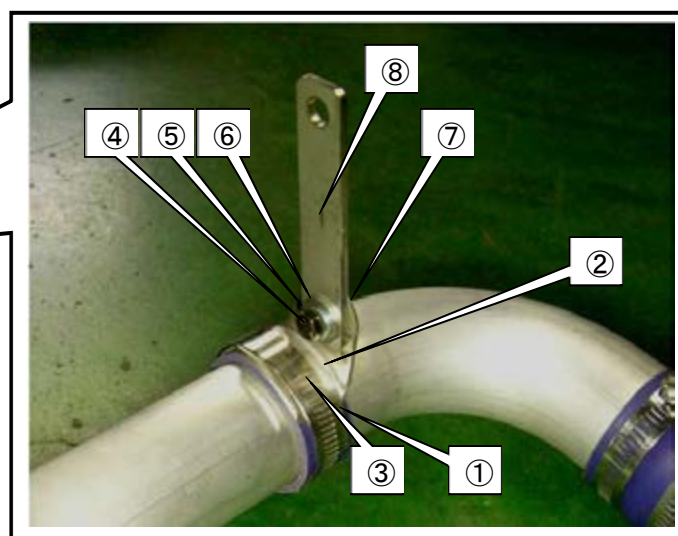
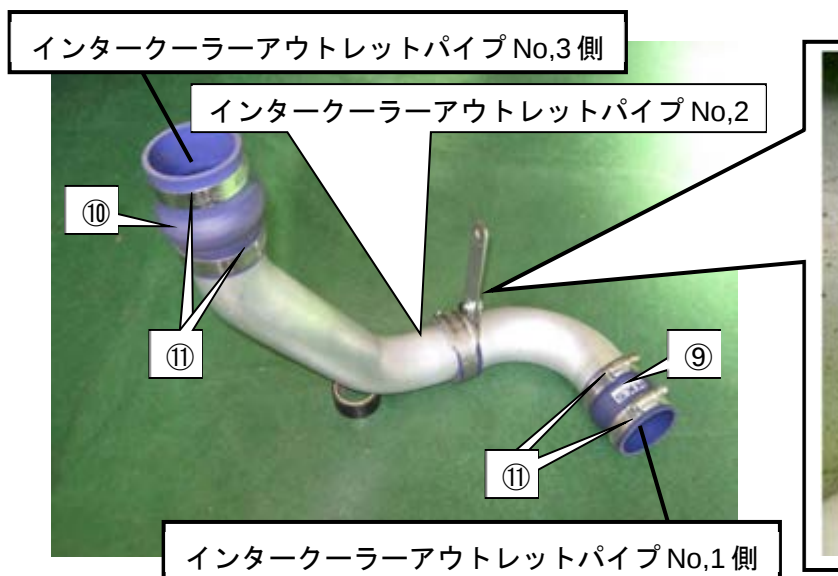
- ①シリコンホース $\phi 50$ L=20
- ②汎用パイプブラケット $\phi 50$ 用
- ③ホースバンド #28
- ④六角ボルト M6 L=15
- ⑤スプリングワッシャー M6
- ⑥ワッシャー M6
- ⑦フランジナット M6

を用い、

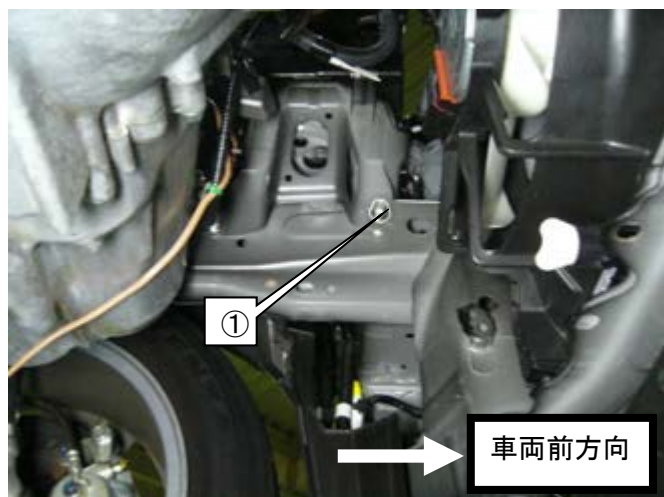
⑧インタークーラーアウトレットパイプブラケット No,1
を仮付けし、

- ⑨シリコンホース $\phi 50$ L=55
- ⑩クッションホース $\phi 50$ L=75
- ⑪ホースバンド #28

を通す。



(14)①ボルトを取外し、インタークーラーアウトレットパイプ No,2 を仮付けする。



(15)リリーフバルブ ASSY 内のガスケットを間に挟み、
①インタークーラーアウトレットパイプ No,3
にリリーフバルブ ASSY を取付ける。

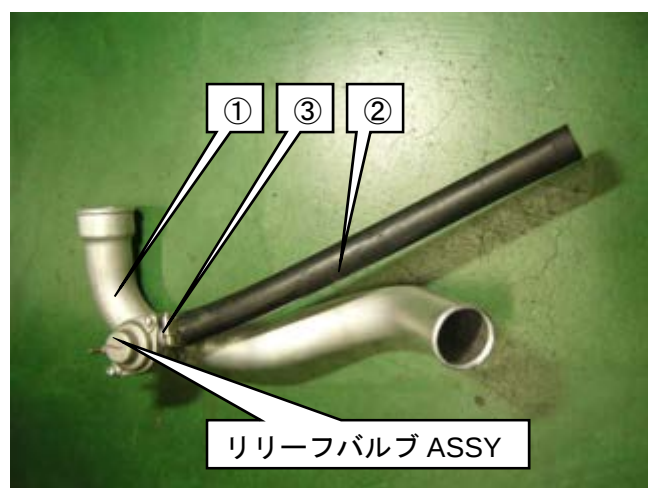
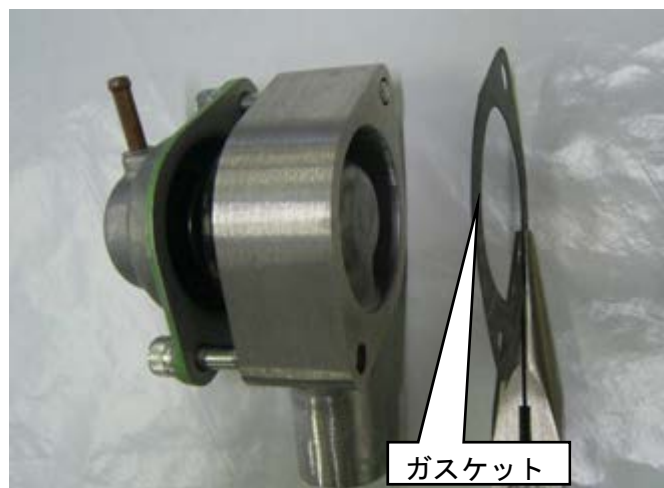
(16)ホース $\phi 22$ を 420mm に切断する。

(17)リリーフバルブ ASSY に

②ホース $\phi 22$ L=420mm

③ホースバンド #16

を取付ける。



(18) インタークーラーアウトレットパイプ No,3 に

- ①シリコンホース φ50 L=20
- ②汎用パイプブラケット φ50 用
- ③ホースバンド #28
- ④六角ボルト M6 L=15
- ⑤スプリングワッシャー M6
- ⑥ワッシャー M6
- ⑦フランジナット M6

を用い、

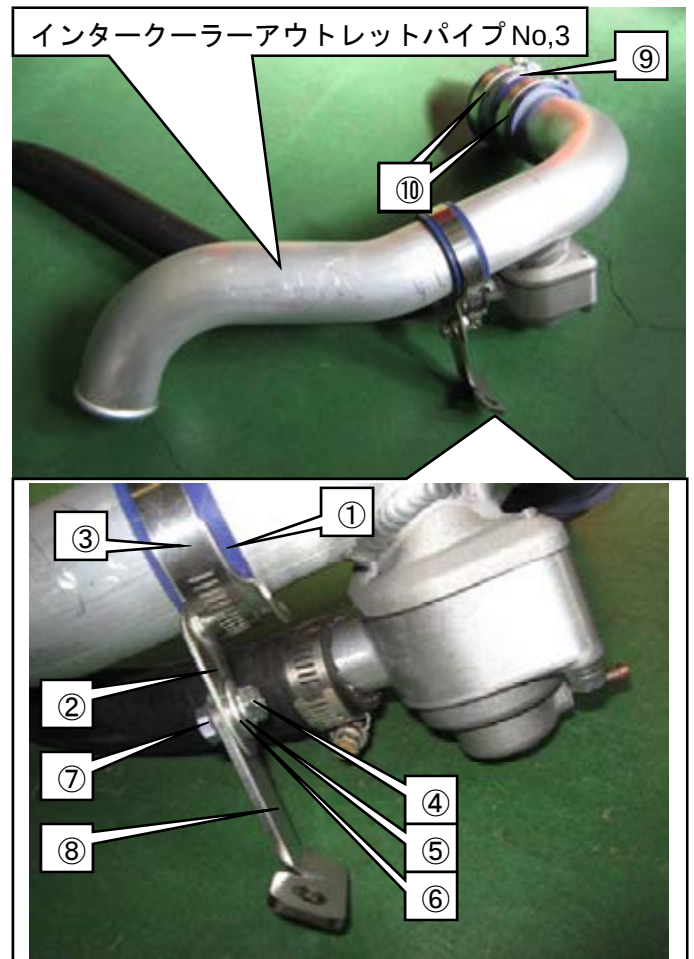
- ⑧インタークーラーアウトレットパイプブラケット No,2

を仮付けし、

- ⑨シリコンホース φ60 L=55

- ⑩ホースバンド #36

を通す。



(19)インタークーラーアウトレットパイプ No,3 ASSY を

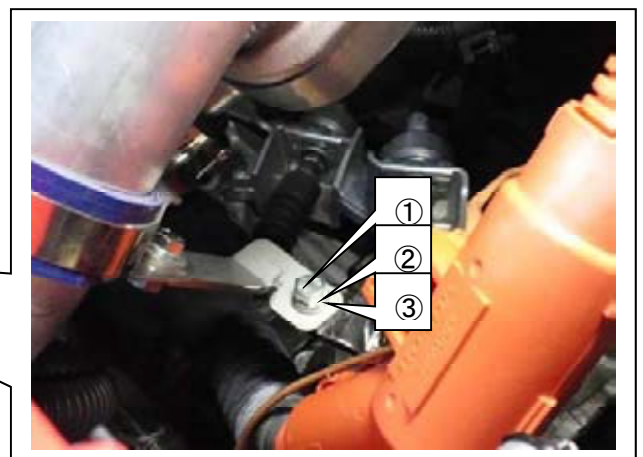
- ①六角ボルト M6 L=15
- ②スプリングワッシャー M6
- ③ワッシャー M6

を用い、車両に仮付けする。

インタークーラーアウトレットパイプ No,1.2.3 の位置決めをし、
仮付けした各ボルト・ホースバンドを本締めする。

アドバイス

- ・取付けたパイプと車両との干渉を確認し、干渉する可能性のある場所には付属のスポンジシートを貼り付ける。



(20) トラクションオイルホース $\phi 8$ と他部品が干渉しないように図中①部にタイラップ を用い、固定する。

アドバイス

- ・ 指示箇所以外にも必要に応じてタイラップ を用いトラクションオイルホースが他部品と干渉しないように固定する。
- ・ トラクションオイルホースがキンクしないことを確認し固定する。



(21)耐油ホース $\phi 10$ を 80mm・620mm、ホース $\phi 4$ を 450mm に切断する。

(22)①チーズ

②ホースバンド #4

③ホース $\phi 4$ L=450

④耐油ホース $\phi 10$ L=80

⑤ホースニップル $\phi 4$ 用

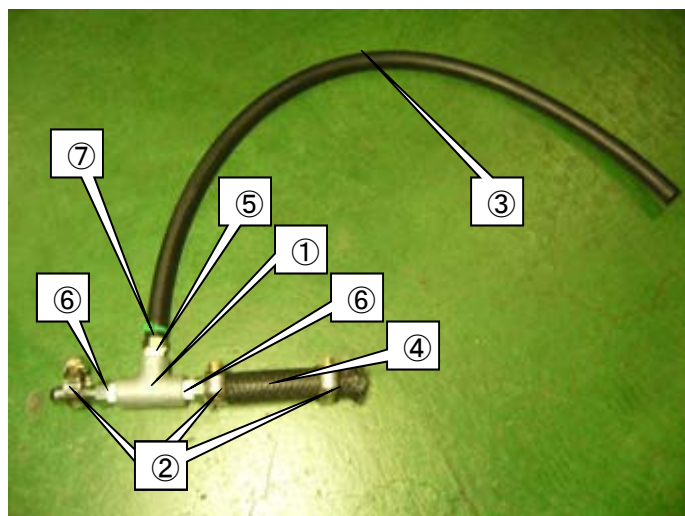
⑥ホースニップル $\phi 10$ 用

⑦タイラップ

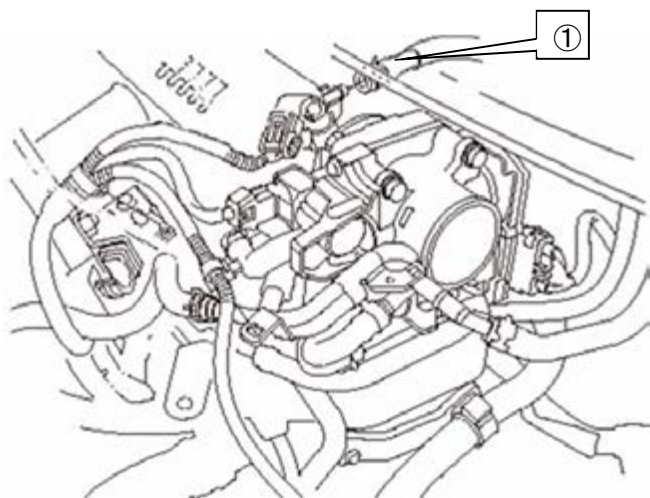
を用い、リリーフバルブ作動圧配管を組み立てる。

アドバイス

- ・ ホースニップル取付けの際にはシールテープを使用する。



(23)①純正バキュームホースを取外し、リリーフバルブ作動圧配管を取付ける。



(24)リリーフバルブ作動圧配管を
①タイラップ
を用い、リリーフバルブ ASSY に取付ける。



・純正フロントバンパーエアガイド加工

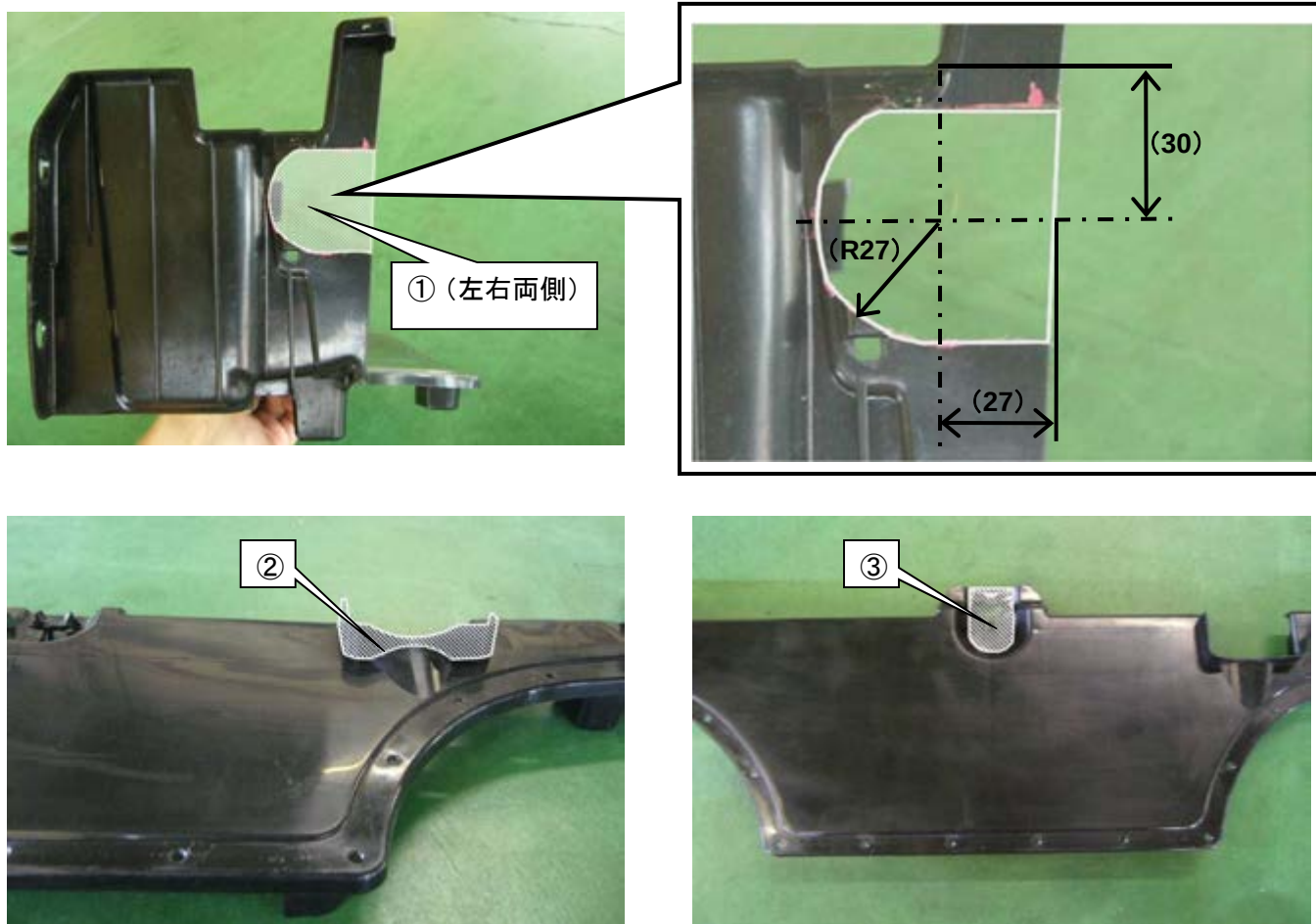
(25)車両から取外した純正フロントバンパーエアガイドを樹脂部品とゴム部品に分離する。



(26)樹脂部品の①（左右両側）・②・③斜線部を切取る。

アドバイス

・ 図中寸法は目安のため、必ず現物合わせで調整を行なう。

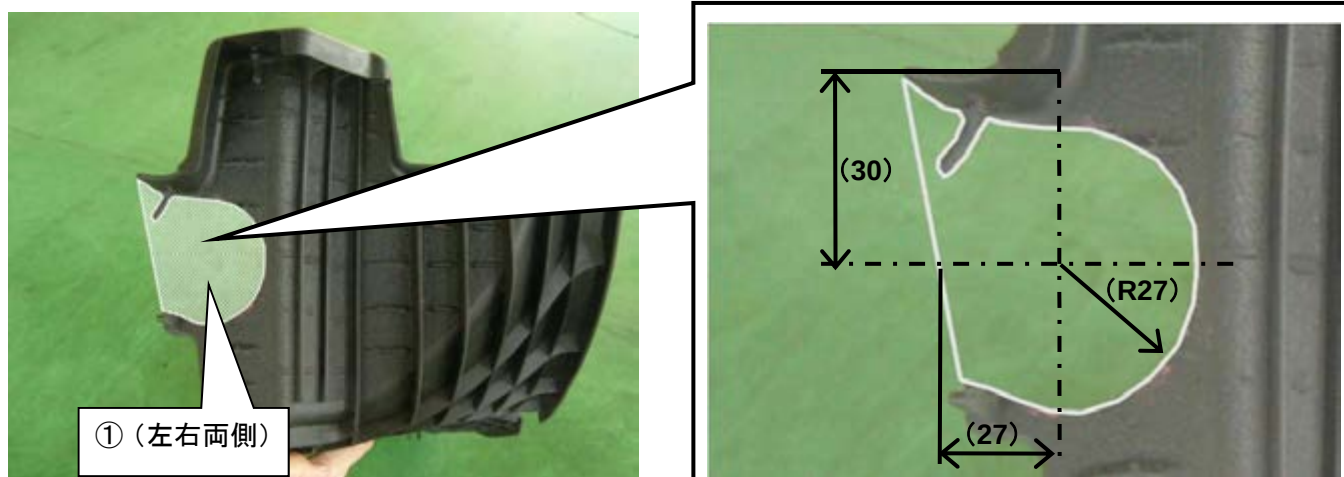


(27)加工した純正フロントバンパーエアガイド（樹脂部品）を
純正ボルト・純正クリップを用い、車両に取付ける。

(28)車両から取外した純正フロントバンパーエアガイドのゴム部品の①（左右両側）斜線部を切取る。

アドバイス

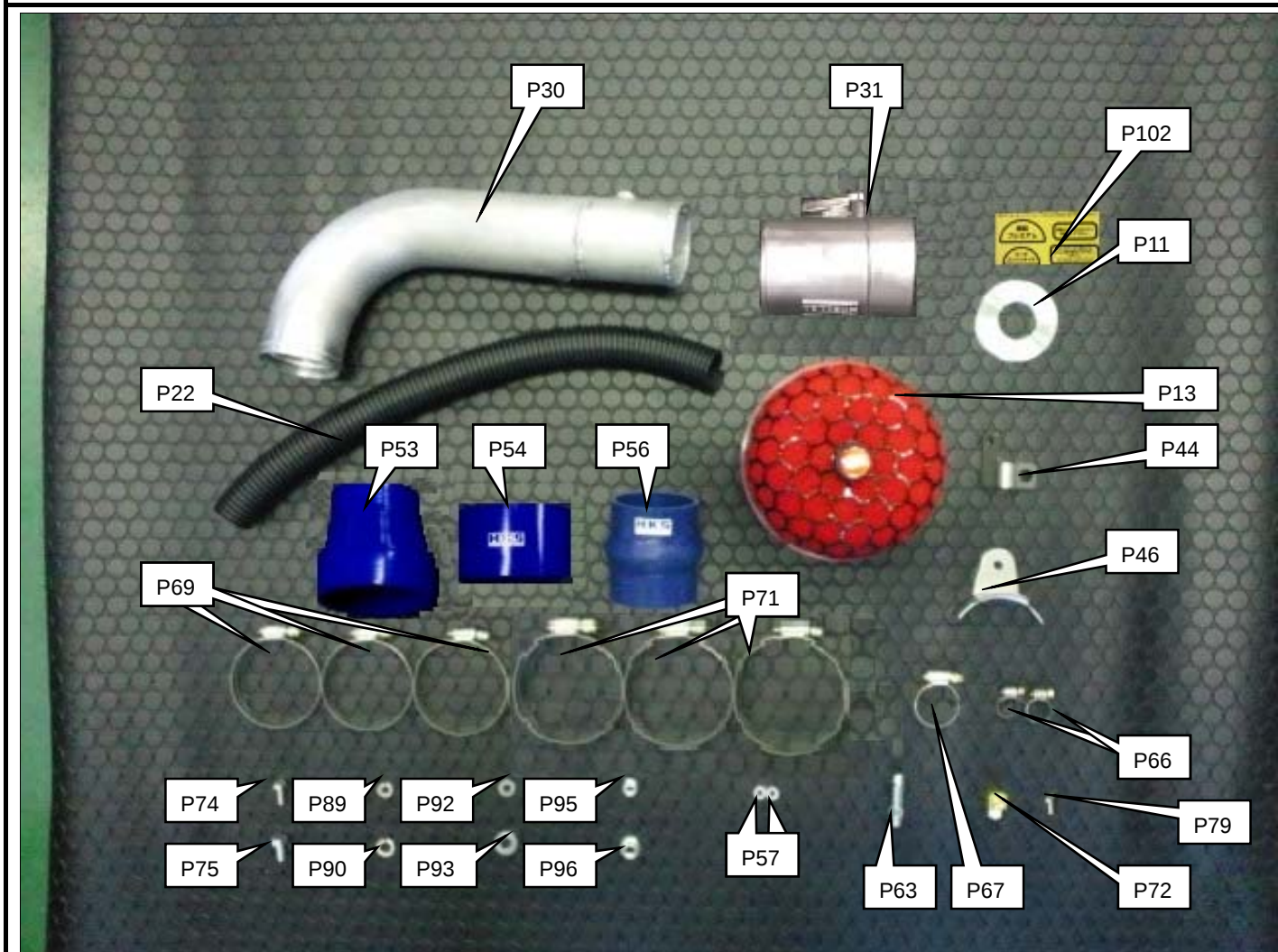
- ・ 図中寸法は目安のため、必ず現物合わせで調整を行なう。
- ・ ゴム部品と樹脂部品を接続する為のゴム突起は切取らない。



(29)加工した純正フロントバンパーエアガイド（ゴム部品）を車両に取付ける。

・サクションパイプ取付け

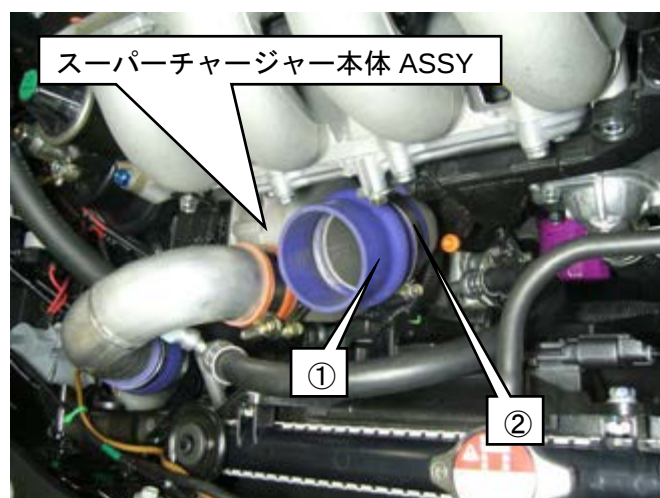
パーツリスト



No.	品名	数量
P11	リストリクター φ27	1
P13	スーパーパワーフローリローデッド φ150-80 赤	1
P22	コルゲートチューブ φ22	1
P30	サクションパイプ No.2	1
P31	サクションパイプアダプター	1
P44	サクションパイプブラケット	1
P46	汎用パイプブラケット φ80 用	1
P53	シリコンホース φ80 L=55	1
P54	異形シリコンホース φ60-φ80	1
P56	クッションホース φ60 L=75	1
P57	スペーサー M4 L=1.5	2
P63	ホースニップル φ10 用	1
P66	ホースバンド #4	2
P67	ホースバンド #16	1
P69	ホースバンド #36	3
P71	ホースバンド #48	3

P72	エルボ PT1/8	1
P74	六角ボルト M6 L=15	1
P75	六角ボルト M8 L=15	1
P79	ボタンボルト M4 L=12	1
P89	スプリングワッシャー M6	1
P90	スプリングワッシャー M8	1
P92	ワッシャー M6	1
P93	ワッシャー M8	1
P95	フランジナット M6	1
P96	フランジナット M8	1
P102	ハイオクステッカー	1

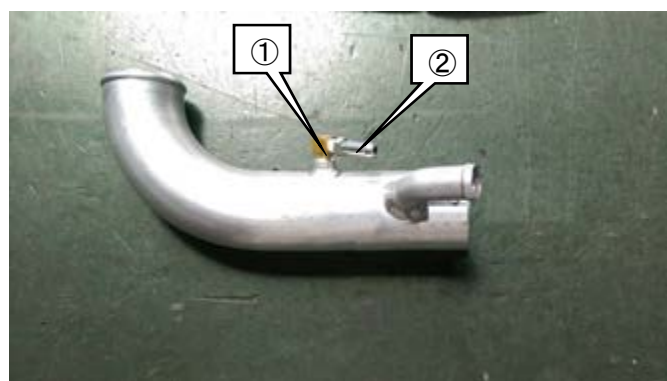
(30)①クッションホース φ60 L=75 を
 ②ホースバンド #36
 を用い、
 スーパーチャージャー本体 ASSY に取付ける。



(31)サクションパイプ No,2 に
 ①エルボ
 ②ホースニップル φ10 用
 を取付ける。

アドバイス

・ホースニップル取付けの際には
 シールテープを使用する。



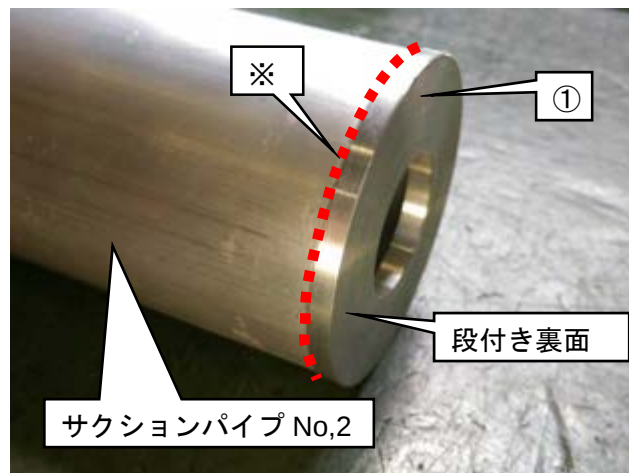
(32)サクションパイプ No,2ASSY に

①リストリクターを取付ける。

その際右図の※部を溶接もしくは耐熱アルミテープでしっかりと固定する。

アドバイス

- ・ リストリクターは円周部が段付きになっている面をサクションパイプ No,2 側にする。
- ・ リストリクターは下表を参考に
車両の仕様に合わせて、選定を行う必要がある。



仕様	リストリクター径
JPN 純正燃料パーツ（燃料ポンプ・インジェクター）仕様	φ27（本製品同封）
JPN HKS Fuel Upgrade Kit装着仕様	φ34（Fuel Upgrade Kit同封）

⚠ 警告

- ・リストリクターにより出力の調整を行っています。装着する車両の仕様に合わせてリストリクター内径を選定してください。意図しない出力となり、エンジンが破損する可能性があります。
 - ・リストリクターの固定は確実に行って下さい。
- リストリクターにズレや外れが生じた場合、最悪エンジンの破損に繋がります。

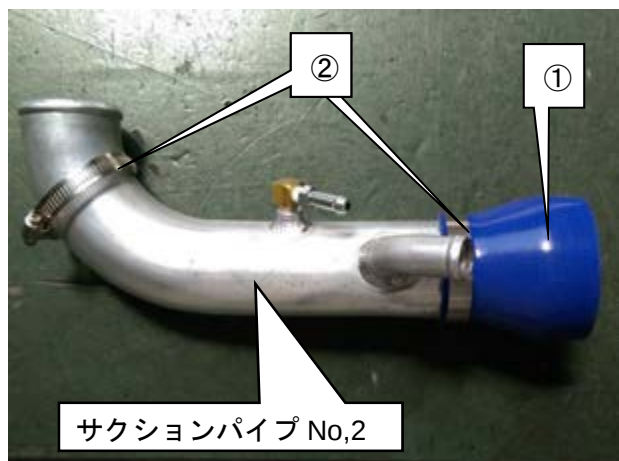
(33)サクションパイプ No,2 に

①異形シリコンホース φ60-φ80 を

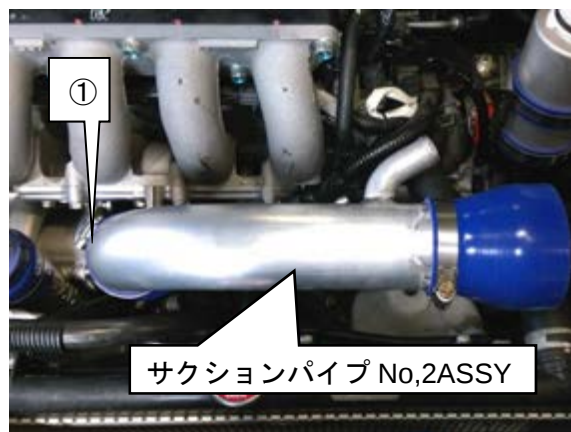
②ホースバンド #36 を使って取り付ける。

アドバイス

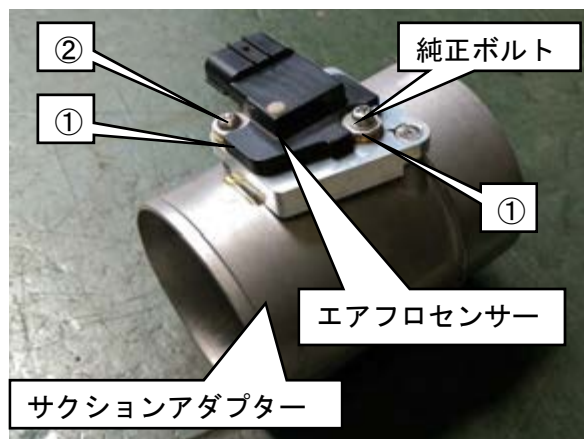
この際リストリクターがしっかりと固定されているか再度確認する。



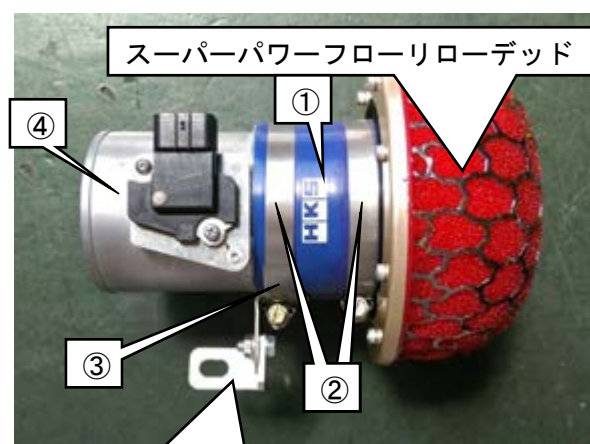
(34)(33)でパイプに通したホースバンド #36
を用い、サクショパイプ No,2 ASSY を車両に仮付けする。



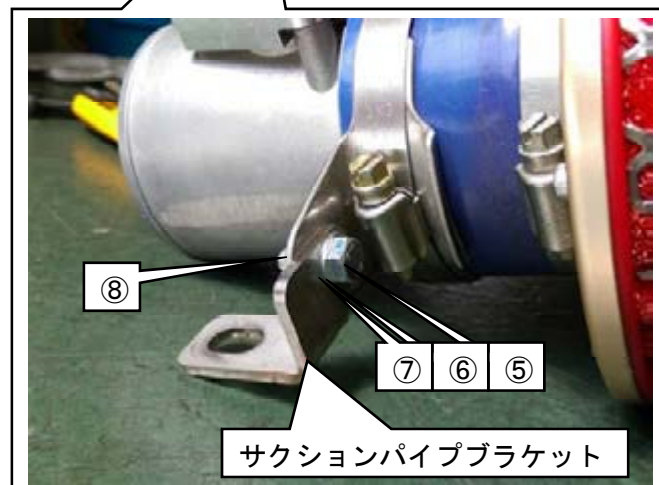
(35)純正エアクリーナーから取外した
エアフロセンサーとサクショアダプターの間に
①スペーサー M4 L=1.5 を挟み
②ボタボルト M4 L=12
純正ボルトを用いサクショアダプターに取付ける。



(36) スーパーパワーフローリローデッドを
①シリコンホース $\phi 80$ L=55
②ホースバンド #48
③汎用パイプブラケット $\phi 80$ 用
を用い、
④サクショアダプター
に仮付けする。



(37)サクショパイプブラケットを
⑤六角ボルト M6 L=15
⑥ワッシャー M6
⑦スプリングワッシャー M6
⑧フランジナット M6
を用い、
④サクショアダプターに
仮付けする。



(38) サクションアダプターAssy を

①六角ボルト M8 L=15

②ワッシャー M8

③スプリングワッシャー M8

④フランジナット M8

⑤ホースバンド #48

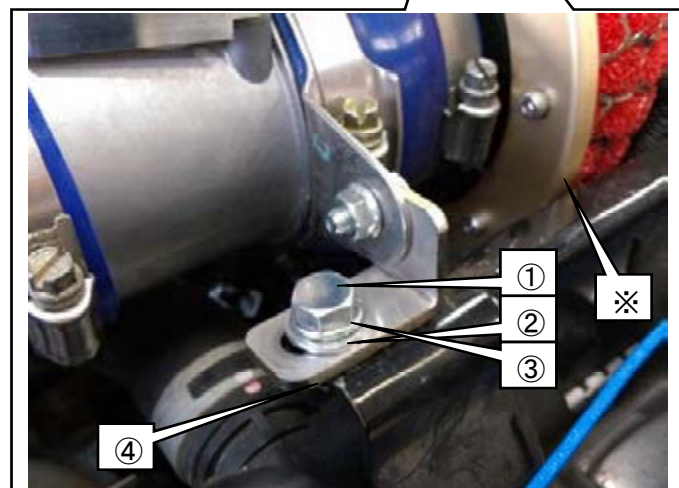
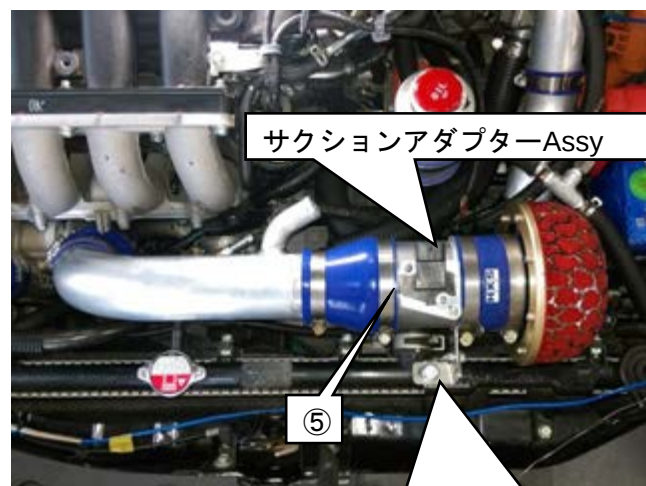
を用い、車両に仮付けし

サクションパイプ No.2.との位置出しをして、
仮付けしたボルト・フランジナット・ホースバンドを
本締めする。

アドバイス

・サクションアダプターAssy はエアフロセンサー
取付け面が地面と平行になるように取付ける。

・右図※部はスーパーパワーフローリローデッドと
純正ブラケットの距離が近くなる為、接触しないよう
位置を調整し取り付ける。



(39) リリーフバルブに取付けたホースφ22 を

①ホースバンド #16

を用い、サクションパイプ No.2 に接続する。

(40) コルゲートチューブφ22 用を L=400mm に切断する。

(41) 車両に取付けたホースφ22 L=420mm に

②コルゲートチューブφ22 用 L=400

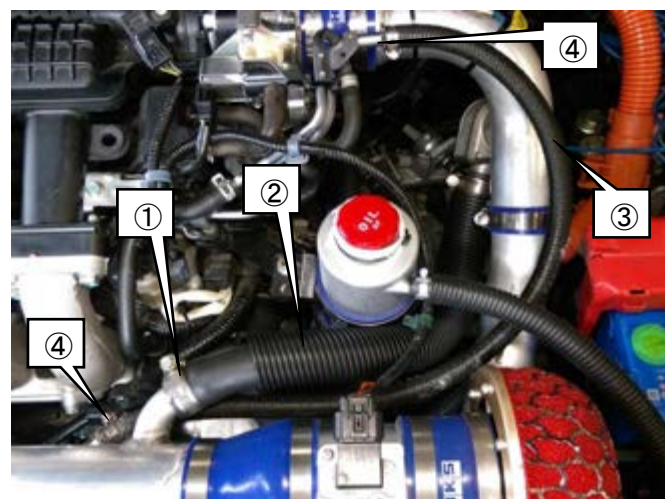
を取付ける。

(42) ③耐油ホースφ10 L=620mm を

④ホースバンド #4

を用い、

純正ブローバイ配管とサクションパイプ No.2 に接続する。



(43) 純正エアフロセンサーコネクターをエアフロセンサーに取付ける。

(44) ガソリン給油口付近にハイオクシールを貼付ける。

5. ノーマルパーツ取付け

整備要領書に従って作業を行なう。

- (1) フロントバンパーセンターアッパービームを取付ける。
- (2) フロントバンパーを取付ける。
- (3) フロントバンパーセンターシールを取付ける。
- (4) フロントバンパーサイドカバーを取付ける。
- (5) 運転席側・助手席側スプラッシュシールドを取付ける。
- (6) エンジンアンダーカバーを取付ける。

6. トラクションオイル注入

パーツリスト



No.	品名	数量
P4	トラクションオイル	1

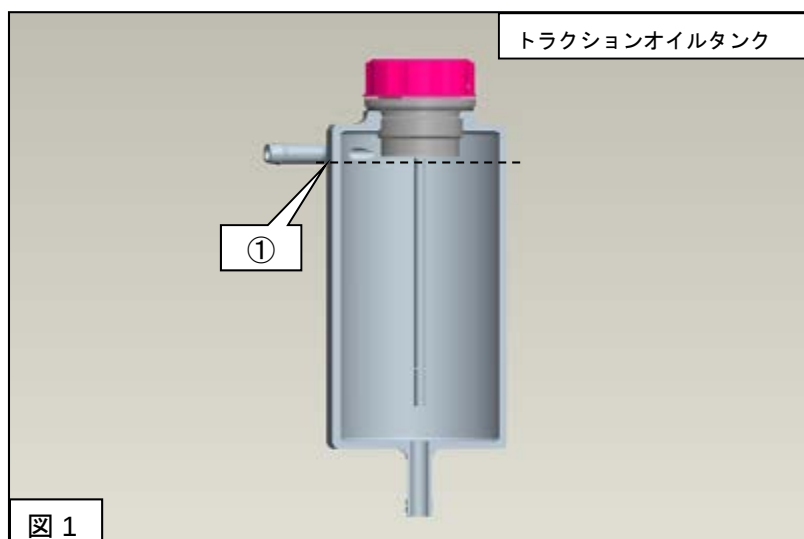


注意

スーパーチャージャーAssy の内部構成部品は精密部品です。

トラクションオイルに異物が混入するとスーパーチャージャーAssy が破損します。
トラクションオイル配管の作業中ホースやタンクに異物が混入しないように
作業を行ってください。

- (1) トラクションオイルタンク内に異物が無い事を確認し、トラクションオイルを
図1 ①のトラクションオイルタンク内のリターンパイプの穴位置まで注入してください。



7. エンジン ECU データ書き換え

パーツリスト



No.	品名	数量
P105	初期化ツール(USB メモリー)	1



注意

本製品はプロキットとなっており、キット内のパーツのみでは走行できません。
制御ユニットに関してはお客様でセットアップし、リセッティングして
ご使用ください。

「エンジン ECU 制御に HKS Flash Editor をご使用になる場合」

エンジン ECU の書き換えに Flash Editor (42015-AH002) をご使用になる場合は、
FLASH EDITOR の取扱説明書に従い、ECU のリフラッシュ作業を行ってください。

その際、初期化ツールは、本キットに同梱されている初期化ツールを必ずご使用下さい。



警告

- ・ Flash Editor内に同梱されている初期化ツールは12001-AH007(GTS4015HP)用となり、
セッティングデータが本キット12001-AH008用と異なりますので、
こちらを使用してリフラッシュ作業を行うと、最悪の場合、エンジンの破損に繋がります。

8. 取付け後の確認と、トラクションオイル量調整

本製品を取付けた後、必ず下記の作業を行なってください。

(1) エンジン始動前に下記の事項を確認してください。

	確認項目	確認
1	トラクションオイル配管が正しく行われているか。	
2	トラクションオイルの漏れはないか。	
3	取付けた部品が各部に干渉していないか。	
4	ベルトは張られているか。	
5	プーリーの取付けボルトおよび固定ボルトが確実に締めてあるか。	
6	トラクションオイルがレベルゲージの①マーキングレベルまであるか。(図5)	
7	ホースにねじれや過度の曲げがないか。	
8	ホースバンドが確実に締まっているか。	
9	ボルト・ナット類が確実にしまっているか。	
10	取付けた部品がしっかりと固定されているか。	

(2) トラクションオイルをビーカー等に約 80cc 準備しておき、エンジンを始動してください。

(3) エンジン始動直後、下記の作業を実施してください。

1. トラクションオイルタンクのトラクションオイルレベルが下がり始め、
トラクションオイルタンクにトラクションオイルが戻ってくる事を確認してください。
2. トラクションオイルタンク内のトラクションオイルが無くならないよう、
無くなる前にビーカー等に準備したトラクションオイルを継ぎ足してください。
その際、トラクションオイルタンクからあふれないようにしてください。

アドバイス

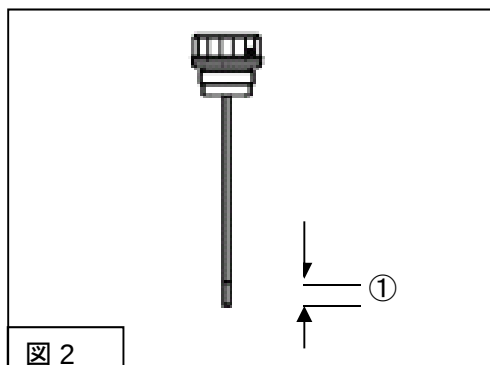
・エンジン始動直後、暖気中にスーパーチャージャーAssy から“ジャラジャラ”といった作動音が聞こえます。これはトラクションオイルが暖まる約2～3分後に聞こえなくなるものであり、異常ではありません。

(4) エンジン暖気後に下記の事項を確認してください。

暖気中はエンジンの回転を上げないようにしてください。(アイドルリング運転)

	確認項目	確認
1	オイルタンクにトラクションオイルが戻っているか。	
3	トラクションオイル、エアの漏れはないか。	
4	ホース類が引っ張られていないか。	
5	部品による干渉音が無いか。	

(5) 上記項目に異常が無いことを確認した後、エンジン回転数を 2000rpm まであげて 10 秒間維持してください。10 秒経過後エンジンを停止し、トラクションオイルがレベルゲージのマーキングレベル(図 2 ①) まであるか確認し、過不足を調整してください。



※残ったトラクションオイルはトラクションオイルが入っていた容器でキャップをして保存してください。トラクションオイルは特殊な成分により構成されているため、他の容器で保存した場合、成分の変化や容器を侵す場合があります。

(6) トラクションオイルタンクのキャップを閉める。



株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181
<http://www.hks-power.co.jp/>